

HP OpenView AssetCenter

ソフトウェアバージョン : 5.0

契約

ビルド番号 : 150



利用規約

保証

HP製品およびサービスに対する保証は、当該製品またはサービスに付帯する明示的保証条項でのみ規定されます。

本規定のいかなる部分も、他の保証を構成すると解釈されるものではありません。

HPは本書の技術上または編集上の誤謬、欠落についての責任を負わないものとします。

本書に含まれる内容は、予告なく変更される場合があります。

限定保証条項

機密コンピュータソフトウェア

所有、使用、コピーには、HPによる有効なライセンスが必要です。

FAR12.211および12.212準拠。商用コンピュータソフトウェア、コンピュータソフトウェアマニュアル、技術データは、ベンダの標準商用ライセンスに基づき、米国政府にライセンス供与されています。

著作権

(c) Copyright 1994-2006 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標

- Adobe®, Adobe Photoshop® and Acrobat® are trademarks of Adobe Systems Incorporated.
- Corel® and Corel logo® are trademarks or registered trademarks of Corel Corporation or Corel Corporation Limited.
- Java™ is a US trademark of Sun Microsystems, Inc.
- Linux is a U.S. registered trademark of Linus Torvalds
- Microsoft®, Windows®, Windows NT® and Windows® XP are U.S. registered trademarks of Microsoft Corporation.
- Oracle® is a registered US trademark of Oracle Corporation, Redwood City, California.
- UNIX® is a registered trademark of The Open Group.

目次

| | |
|----------------------------|----|
| はじめに | 11 |
| 契約モジュールの対象ユーザ | 11 |
| 契約モジュールの使用目的 | 12 |
| 本マニュアルの使用方法 | 12 |
| I. 事前準備 | 15 |
| 1. 事前準備 | 17 |
| II. 使用 | 21 |
| 2. 一般的な概要 | 23 |
| リース契約 | 23 |
| メンテナンス契約 | 26 |
| 保険契約 | 26 |
| ソフトウェアライセンス | 27 |
| 一括発注契約 | 27 |
| アプリケーションサービス契約 | 27 |
| 3. 手順1 - 契約を作成する | 29 |
| 契約を作成する | 29 |

| | |
|----------------------------|-----------|
| 契約の階層構造 | 31 |
| 契約のタイプ | 31 |
| 契約に関連付けられたドキュメント | 33 |
| 4. 手順2 - 契約に資産を追加する | 39 |
| 契約に資産をリンクする | 39 |
| 契約上の資産のリストを確認する | 43 |
| 資産に関連付けられた契約のリストを確認する | 43 |
| 資産と契約とのリンクを削除する | 44 |
| 5. 手順3 - 賃貸料を定義する | 47 |
| 主要な概念 | 47 |
| 契約のレベルで賃貸料を追加する | 47 |
| 資産のレベルで賃貸料を追加する | 49 |
| 賃貸料の支払スケジュールを入力する | 49 |
| 賃貸料の配賦方法 | 51 |
| 賃貸料を配賦する | 61 |
| 6. 手順4 - ローンの定義 | 63 |
| 主要な概念 | 63 |
| 契約ごとにローンを追加する | 63 |
| 資産ごとにローンを追加する | 64 |
| ローン返済スケジュールの入力 | 65 |
| ローンの配賦方法 | 67 |
| 賃貸料を配賦する | 75 |
| 7. 手順5 - 資産を検収する | 77 |
| 主要な概念 | 77 |
| 資産を検収する | 78 |
| 8. 手順6 - 経費明細を生成する | 85 |
| 主要な概念 | 85 |
| 賃貸料にリンクする経費 | 87 |
| ローンにリンクする経費 | 90 |
| 9. 手順7 - 損失額の定義 | 93 |
| 主要な概念 | 93 |
| 損失額の計算規則を定義する | 94 |
| 損失額を計算する | 96 |

| | |
|------------------------------------|------------|
| 損失額を更新する | 97 |
| 10. 手順8 - 終了日の管理 | 99 |
| 契約上の資産を更新する | 99 |
| 資産を返却する | 101 |
| 資産を買い取る | 102 |
| その他の場合 | 103 |
| 11. 日常のASP契約の管理 | 105 |
| 必要条件 | 105 |
| ASP管理Webページに接続する | 106 |
| ASP Webサイトに接続する | 107 |
| テクニカルサポートに電子メールを送信 | 107 |
| ユーザアカウントを管理する | 108 |
| III. 実用例 | 115 |
| 12. 実用例 | 117 |
| メンテナンス契約を管理する | 117 |
| 保険契約を管理する | 122 |
| ASP契約を管理する | 122 |
| アラームを作成する | 130 |
| IV. 付録 | 137 |
| 13. 用語解説 | 139 |
| 検収 (Acceptance) | 139 |
| 料率 | 139 |
| 一括発注 | 140 |
| 契約 | 140 |
| マスターリース (Master lease) | 140 |
| リース明細 | 141 |
| ローン (Loan) | 141 |
| 支払期日 | 141 |
| 期間満了 (End of term) | 142 |
| 配賦 | 142 |
| 利子 | 143 |
| リース | 143 |
| 賃貸料 (Rent) | 143 |
| 初回賃貸料 (Interim rent) | 144 |

| | |
|------------------------------|-----|
| 主賃貸料 | 144 |
| 賃貸額 | 144 |
| 通知 | 145 |
| 回数 | 145 |
| 貸付業者 (Assignee) | 145 |
| 比例配分 | 146 |
| アプリケーションサービス | 146 |
| ローン返済明細 | 147 |
| 損失額 (Loss value) | 147 |
| 比例配分値 | 147 |
| 賃貸料の値 | 148 |
| 買取額 | 148 |
| 市場価格 | 148 |
| 初回金 | 149 |

| | |
|--------------|-----|
| 索引 | 151 |
|--------------|-----|

図の一覧表

| | |
|---------------------------------------|-----|
| 2.1. 契約 - データモデル | 24 |
| 2.2. リース - 手続きの手順 | 25 |
| 9.1. 損失額のタイプ - '定額法' の例 | 94 |
| 11.1. ユーザアカウントの管理ワークフロー - 図 | 109 |

表の一覧表

| | |
|--|----|
| 1.1. 契約モジュール - 必要なユーザライセンス | 17 |
| 3.1. 契約にアクセスするメニュー | 29 |
| 4.1. 資産と契約をリンクする | 40 |
| 5.1. 賃貸料 - 賃貸料の支払スケジュールを指定するフィールド | 50 |
| 5.2. [回数] フィールド - 概要 | 50 |
| 5.3. 賃貸料 - 契約賃貸料の計算に使用されるフィールド | 55 |
| 5.4. 賃貸料 - 資産の賃貸料の計算に使用されるフィールド | 56 |
| 5.5. 賃貸料 - 契約賃貸料の計算に使用されるフィールド | 59 |
| 5.6. 賃貸料 - 契約賃貸料の計算に使用されるフィールド | 61 |
| 6.1. ローン - ローン返済スケジュールを記述するために使われるフィールド | 66 |
| 6.2. ローン - 経費明細の計算に使用されるフィールド | 70 |
| 6.3. ローン - 経費明細の計算に使用されるフィールド | 75 |
| 7.1. [検収日と初回賃貸料] ウィンドウ | 78 |

はじめに

契約モジュールの対象ユーザ

AssetCenterの契約モジュールは、設備や資産用に以下の契約を締結する企業向けに設計されています。

- 保険
- レンタル契約またはリース契約
- メンテナンス
- ライセンス契約
- アプリケーションサービス
- 一括発注

主に以下のユーザが契約モジュールを使用します。

- 財務管理者
- 購買管理者
- バイヤ
- ポートフォリオの管理者
- 法律顧問
- 資産トラッキングの管理者

契約モジュールの使用目的

契約モジュールは契約の文書化と管理に使用されます。

- 契約条件
- 利害関係者
- 賃貸料、ローンと税金
- 経費
- 契約に関連する資産と従業員
- 貸主と借主間の事務手続き
- リース契約の終了
- レポート

契約モジュール内のリース部分は、所有資産の総管理費用（TCO - Total Cost of Ownership）の管理に非常に有用です。Gartner Groupは、リース契約を適切なソフトウェアで管理することが、IT資産管理のコスト削減を図る最大の秘訣であると述べています。

本マニュアルの使用方法

「使用」の部

「一般的な概要」の章

この章では、契約モジュールの基本的な機能の使用法の説明とAssetCenterで処理できるさまざまなタイプの契約について示します。

この章では契約モジュール機能の概要をつかむことができます。

「手順1-契約を作成する」の章

この章では、契約管理の最初の手順と、AssetCenterデータベースで契約を作成する方法の詳細について説明します。

この章は、契約モジュールで日常の契約管理を行う際の手引きとしてお読みください。

「手順2-契約に資産を追加する」の章

この章では、契約管理の2番目の手順と、契約と資産をリンクする方法の詳細について説明します。

この章を読んで、作成した契約に資産を追加または削除する方法、契約上の資産リストを参照する方法について把握してください。

「手順3-賃貸料を定義する」の章

この章では、契約管理の3番目の手順を説明し、契約および資産賃貸料に関する問題を扱います。

この章を読んで、契約への賃貸料の追加、賃貸料の支払明細の定義、賃貸料の比例配分方式の選択方法について把握してください。

「手順4-ローンの定義」の章

この章では、契約管理の4番目の手順を説明し、契約および資産ローンに関する問題を扱います。

この章を読んで、契約へのローンの追加、ローン返済明細の定義、ローンのコスト分担方式の選択方法について把握してください。

「手順5-資産を検収する」の章

この章では、契約管理の5番目の手順である資産の検収について説明します。

この章を読んで、資産の検収方法と初回賃貸料の計算方法について把握してください。

「手順6-経費明細を生成する」の章

この章では、契約管理の6番目の手順ならびに経費明細に関する問題を取り扱います。

この章を読んで、賃貸料とローン支払額から経費明細を生成または再計算する方法について把握してください。

「手順7-損失額の定義」の章

この章では、契約管理の7番目の手順である損失額の定義について説明します。

この章を読んで、資産の喪失または破損の管理方法について把握してください。

「手順8-終了日の管理」の章

この章では、契約管理の8番目の手順と期間満了手続きの詳細について説明します。

この章を読んで、契約が任期満了になったときにどのようなオプションを選択できるか把握してください。

「日常のASP契約の管理」の章

この章はアプリケーションサービス契約のみ対象としています。

この章を読んで、アプリケーションサービス契約の特徴について理解し、AssetCenterを使って契約を管理する方法について把握してください。

「実用例」の部

日常のASP契約の管理の章

この章では4つのイラスト例を用いて、AssetCenterがどのように契約を管理するかについて調べます。

この章を読んで、4つの契約管理シミュレーションとAssetCenterでのアラーム作成方法について把握してください。

「付録」の部

「用語解説」の章

契約モジュールでは専門的な用語が使用されています。契約モジュールの主要用語は用語解説にまとめられています。

用語の理解にはこの用語集を通読してください。

I 事前準備

1 事前準備

契約モジュールの必要条件

契約モジュールを使用するには、AssetCenterのユーザライセンスで、次のモジュールへのアクセス権を取得している必要があります。

表 1.1. 契約モジュール - 必要なユーザライセンス

| 必要な機能 | ライセンス範囲内で購入するモジュール |
|-------------|--------------------|
| 契約管理 | 契約 |
| ポートフォリオ管理 | ポートフォリオ |
| コスト管理 | ファイナンス |
| 調達管理（オプション） | 購入 |

契約モジュールを使って本番データベースで作業する

本番データベースを使用するには、次を実行してください。

- 1 AssetCenterをインストールします。
- 2 AssetCenter Database Administratorを実行します。
- 3 データベースを作成し、契約に特有の専門分野データをインポートします。
- 4 テーブル契約モジュール - 必要なユーザライセンス [献 17]のモジュールを含むユーザライセンスを挿入します。
- 5 AssetCenterを実行します。
- 6 作成したデータベースに接続します。

- 7 Windowsクライアントを使用している場合：テーブル契約モジュール-必要なユーザライセンス [献 17] のモジュールを起動します（ [ファイル / モジュールの起動] メニュー）。

モジュールの起動方法については、マニュアル『カスタマイズ』のパート1「クライアントコンピュータのカスタマイズ」、「クライアントワークステーションのカスタマイズ」章にある「モジュールの起動」の節を参照してください。

データベース作成時に専門分野データをインポートする

マニュアル『管理』の「AssetCenterデータベースの作成、変更、削除」の章にある「AssetCenter Database Administratorを使ってデータベース構造を作成する」の指示に従ってください。

[インポートするデータ] ページで、次のオプションを選択します。

- 契約 - 専門分野データ
- 契約 - 専門分野データ (ASP)

専門分野データを既存のデータベースにインポートする

以下の操作を行います。

- 1 AssetCenter Database Administratorを実行します。
- 2 [ファイル / 開く] メニューを選択します。
- 3 [データベース記述ファイルを開く (新規データベースの作成)] オプションを選択します。
- 4 AssetCenterインストールフォルダの「config」サブフォルダに存在する「gbbase.xml」ファイルを選択します。
- 5 データベースの作成ウィザードを開始します（ [アクション / データベースの作成] メニュー）。
- 6 ウィザードのページを次のように入力します（ウィザードページの移動には [次へ] と [戻る] ボタンを使用します）。

[SQLスクリプトの生成 / データベースの作成] ページ：

| フィールド | 値 |
|---------------|------------------------------------|
| データベース | 専門分野データのインポート先にするデータベースへの接続を選択します。 |
| 作成 | 専門分野データをインポート |
| 高度な作成オプションを使用 | このオプションは選択しません |

[作成パラメータ] ページ：

| フィールド | 値 |
|-------|--|
| パスワード | 管理者のパスワードを入力します。 注意: AssetCenterデータベース管理者は、[名前] (Name) フィールドがAdminに設定された [従業員と部署] (amEmplDept) テーブル内のレコードです。 データベース接続ログインは、[ユーザ名] (UserLogin) フィールドに保存されます。管理者名はAdminです。 パスワードは、[パスワード] フィールド (LoginPassword) に保存されます。 |

[インポートするデータ] ページ:

| フィールド | 値 |
|-----------------|---|
| 使用可能データ | 次のオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 契約 - 専門分野データ ■ 契約 - 専門分野データ (ASP) |
| エラー発生時にインポートを中止 | このオプションは、問題が発生したときにインポートを中止する場合に選択します。 |
| ログファイル | エラーや警告などすべてのインポート操作を記録するファイルの完全名 |

7 ウィザードによって定義したオプションを実行します ([終了] ボタン)。

AssetCenterのインストールの詳細を知るには

マニュアル『インストールとアップグレード』を参照してください。

II 使用

2 一般的な概要

本章では、契約モジュールの一般的な概要について説明します。

AssetCenterでは、取引先との間で締結された契約（メンテナンス契約、保険契約など）を管理できます。

契約は階層構造になっており、すべての契約が1つのテーブルで管理されます。各契約には主契約と付属契約があります。

契約の詳細画面に表示される一連のタブとその内容は、作成する契約の [タイプ] (seType) および [支払属性] (sePayType) フィールドによって異なります。

リース契約

主要な概念

リース契約では、貸主がある一定の期間、資産を賃貸料をとって貸します。借主には、資産を保有し使用する権利が与えられます。

リース契約の借主は、借りた物件を実際に所有せずに、自分の好きなように使用することができます。また、借主は、その物件の法的所有者、またはその資産の法的所有者の代理としての貸主に一定の賃貸料を支払います。

リースでは以下の概念を使用します。

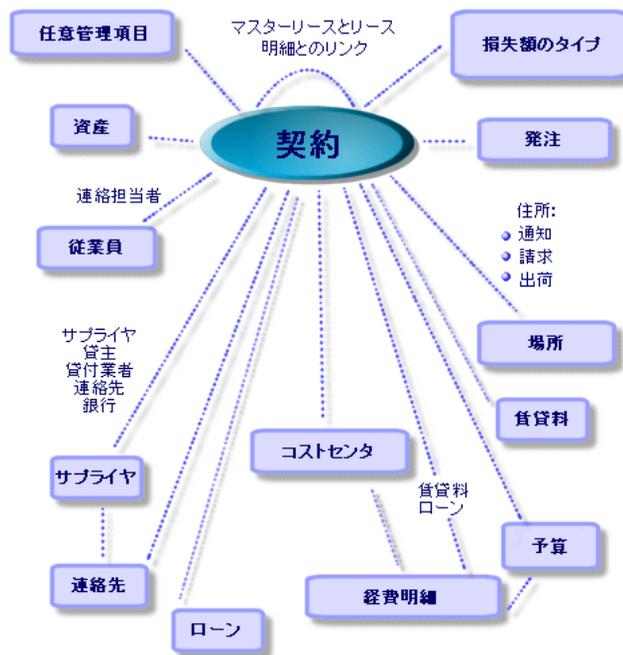
- リース [献 143]
- マスターリース (Master lease) [献 140]

- リース明細 [献 141]
- 賃貸料 (Rent) [献 143]
- 検収 (Acceptance) [献 139]
- 損失額 (Loss value) [献 147]
- ローン (Loan) [献 141]
- 期間満了 (End of term) [献 142]
- 貸付業者 (Assignee) [献 145]

これらの概念の定義については、本マニュアルの用語解説 [献 139] を参照してください。

データの簡略モデル

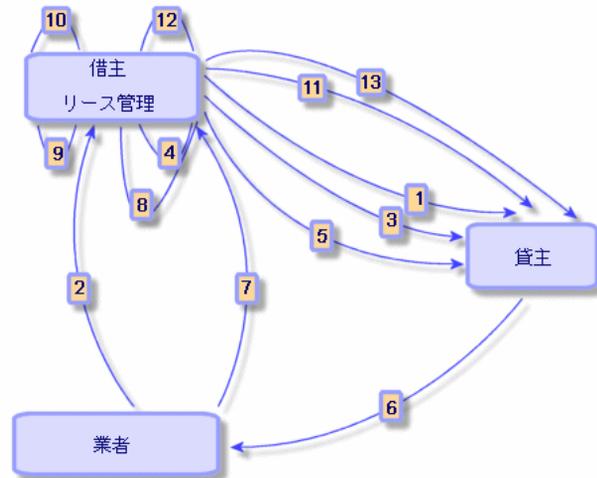
図 2.1. 契約 - データモデル



一般的な手順

リース手続きの一般的な手順は例えば次のようになります。

図 2.2. リース - 手続きの手順



- 1 マスターリースを作成します。マスターリースには、一般的な契約条件を入力します。リース明細のテンプレートとして使います。
- 2 AssetCenterを使ってリース対象の資産の見積を作成します。これで賃貸額の評価を開始できます。
- 3 AssetCenterを使ってリース明細を作成します。リース明細はマスターリースにリンクできます。必ずしもリンクさせる必要はありません。
- 4 AssetCenterを使ってリース対象の資産の発注を作成します。
- 5 発注書を発行します（借主から貸主へ）。
- 6 貸主が業者に発注します。
- 7 業者から貸主にリース物件が納品されます。
- 8 AssetCenterを使って発注に関連する資産の受領伝票を作成します。これで、資産がリース明細に加えられます。
- 9 AssetCenterを使わずに調達を管理する場合は、資産を手動でリース明細に追加する必要があります。
- 10 賃貸料の詳細情報を入力します。
- 11 資産の受領を検収します。受領証書を送付します（借主から貸主へ）。
- 12 契約上の資産のライフサイクル管理（資産の追加、資産の紛失または破損、返却、更新、購入）を行います。
- 13 期間満了の管理（契約の更新またはアップグレード、資産の返却または購入）を行います。

処理をトラッキングする

資産のライフサイクルをトラッキングするには、契約の詳細の [サイクル] タブを表示します。このタブページには、資産に対してリース契約の一部として実行した処理の一覧が表示されます。

- 1 契約下に置く
- 2 検収
- 3 更新
- 4 購入 (買い取り)
- 5 返却

注意:

このタブページは、情報の提供のみを目的としています。このタブページから契約下にある資産に関する処理を行うことはできません。

処理を行った資産や返却伝票のリストを展開するには、 をクリックします。ダブルクリックすると、資産と返却の詳細画面にアクセスできます。

注意:

返却処理に表示される日付は返却予定日です。

メンテナンス契約

AssetCenterでは、メンテナンス契約の使用条件を定義したり、関連する作業指示を管理することができます。

AssetCenterによる作業指示の管理の詳細については、マニュアル『ポートフォリオ』の「作業指示とプロジェクト」の章にある「作業指示」を参照してください。

保険契約

AssetCenter 契約モジュールでは、保険契約の契約条件を定義することができます。

これらの特殊性を別にすれば、AssetCenterで保険契約を管理する手順はリース契約の管理手順と同じです。

保険契約の作成とトラッキングの詳細については、リース契約の概要 (「リース契約 [献 23] 」) を参照してください。

ソフトウェアライセンス

AssetCenterではライセンスの使用条件を定義することができます。

AssetCenterによるソフトウェアライセンスの管理とインストールの詳細については、マニュアル『ポートフォリオとソフトウェアライセンス』の「ソフトウェア」の章を参照してください。

一括発注契約

一括発注タイプの契約は、顧客が指定期間内の最低発注約定によってサプライヤに関連付けられているために、AssetCenterの調達モジュールと密接に関連付けられます。

一括発注タイプの契約の作成と管理の詳細については、マニュアル『調達』の「発注」の章にある「一括発注」を参照してください。

アプリケーションサービス契約

主要な概念

アプリケーションサービスとは、アプリケーションサービスプロバイダ（ASP）と呼ばれるサードパーティによりホスティングされるソフトウェアアプリケーションを指します。このアプリケーションは通常特定の業務分野（銀行口座の管理、顧客口座など）に関係していて、定期購入タイプの契約の対象になります。アプリケーションサービスを使うと、アプリケーションのメンテナンスやアップグレードの必要がなくなります。

AssetCenterは、企業が使用するアプリケーションサービスに関するデータを保存、トラッキングすることができます。ユーザはASP契約データにアクセスし、（アクションとワークフローによる）自動処理手続きを作成することができます。

AssetCenterでのアプリケーションサービス契約の管理手順

AssetCenterでアプリケーションサービス契約を管理するには、次の手順を確実に実行する必要があります。

- 1 契約を作成する（ナビゲーションバーの [契約 / ASP / アプリケーションサービス] リンク）：ここでは契約を定義するフィールドに必要な情報を入力します（責任者、リファレンス、アプリケーションタイプなど）。

- 2 アプリケーションサービスの詳細画面の [従業員] タブで 契約へのアクセス権を持つ従業員を選択する：契約の管理者（およびそのログイン名）と契約ユーザを選択します。
 - 3 日常の契約管理：日常の管理の基本となるのはアクションとワークフロー（管理、接続、電子メールの配信、ユーザの追加と削除、アカウントの変更など）です。AssetCenter Serverではワークフローチャートが実行されます。
-

 **警告:**

ワークフローが正常に機能するには、実行グループ'**BST_ASP**'にワークフロー規則を適用モジュールをAssetCenter Serverで有効にする必要があります。

- 4 契約管理者が変更を確定する（ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / ワークフローのタスク] リンク）：この手順は自動処理ではないため、責任者はAssetCenter Serverにより指示されたすべての変更を確認し、反映することができます。その後、契約に関連した情報は更新され、ワークフローによって契約ユーザに通知されます。

3 手順1 - 契約を作成する

この章では、契約の作成方法ならびに次の点について説明します。

- 使用可能なメニュー
- 必須入力フィールド
- この段階で入力不要なタブ
- 使用可能な契約タイプ

契約を作成する

契約を作成するには、次の手順に従います。

- 1 ナビゲーションバーの次のいずれかのリンクを使用して契約のリストを表示します。

表 3.1. 契約にアクセスするメニュー

| メニュー | メニューを使用して表示する契約タイプ |
|-------------------------|--------------------|
| [契約 / 契約] | すべてのタイプ (ASPを除く) |
| 契約 / リース / リース明細 | リース明細 |
| 契約 / 一括発注タイプの契約 | 一括発注 |
| 契約 / リース / マスターリース | マスターリース |
| 契約 / ASP / アプリケーションサービス | ASP |

 ヒント:

表からわかるとおり、ナビゲーションバーの複数のリンクから同一の契約タイプを表示できます。

特定タイプの契約のみ表示するナビゲーションバーのリンクの場合は、契約を絞り込める利点があります。

また、ASPタイプの契約を表示できるナビゲーションバーのリンクはありません。[契約 / 契約] リンクからこのタイプの契約は表示できません。

- 2 新規契約を作成します ([新規作成] ボタン) 。
- 3 契約のフィールドとリンクに、次の項目をはじめとする必要な情報を入力します。

| フィールドまたはリンク | 値 |
|---|--|
| タイプ (seType) | このフィールドの入力方法を調べるには▶ 契約のタイプ [献 31] |
| [全般] タブ | |
| 親契約 (Parent) | このフィールドの入力方法を調べるには▶ 契約の階層構造 [献 31] |
| 支払属性 (sePayType) | <ul style="list-style-type: none">■ なし：契約は賃貸料またはローンのどちらによっても資金調達されない。■ 賃貸料：契約は賃貸料により資金調達される。 ▶ 手順3 - 賃貸料を定義する [献 47]■ ローン：契約はローンにより資金調達される。 ▶ 手順4 - ローンの定義 [献 63]■ 両方：契約は賃貸料とローンの両方によって資金調達される。 ▶ 手順3 - 賃貸料を定義する [献 47] ▶ 手順4 - ローンの定義 [献 63] |
| [リース] タブ | このタブは、[タイプ] (seType) フィールドが [リース明細] に設定された場合に表示されます。 |
| <ul style="list-style-type: none">■ 業者指定 (bAssignable)■ 貸付業者■ 条件 (AssignCond) | リース契約を割当可能：貸主は割当先により機器の資金調達ができます。このケースでは、これらのフィールドに必要な情報を入力します。 |
| [ライセンス] タブ (ライセンス契約用) | このタブは、[タイプ] (seType) フィールドが [ライセンス] に設定されているときに表示されます。 |
| [従業員] タブ | ライセンスのユーザーリストを定義できます。 |
| [オプション] タブ | [タイプ] (seType) フィールドが [リース明細] に設定されているときに表示され、使用可能な期間満了オプションを決定することができます。 ▶ 手順7 - 損失額の定義 [献 93] |

| フィールドまたはリンク | 値 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> Windowsクライアント： [契約] ボタン Webクライアント： [状況依存アクション] ドロップダウンリストから [契約] を選択します。 | <p>このボタンと入力アプリケーションサービスの契約の詳細に表示されます。契約（この場合はライセンス契約）の主なフィールドとリンクにアクセスできます。</p> <p>アプリケーションサービスとライセンスをそれぞれ記述する画面は同じレコードに対応しています。</p> <p>▶ 日常のASP契約の管理 [献 105]</p> |

4 次のタブページには何も入力しないでください。この入力は後で行います。

| タブ | 参照する章または節 |
|---------|----------------------------|
| 資産 | ▶ 手順2 - 契約に資産を追加する [献 39] |
| 資産（リース） | ▶ 手順5 - 資産を検収する [献 77] |
| 賃貸料 | ▶ 手順3 - 賃貸料を定義する [献 47] |
| ローン | ▶ 手順4 - ローンの定義 [献 63] |

契約の階層構造

親契約リンクにより、契約テーブルは階層構造を持ちます。

付属契約リストは、親契約の [明細] サブタブにあります。

階層構造は次のような場合に便利です。

- マスターリースにリース明細を関連付ける。
- 契約に修正を関連付ける。

リース契約の場合、 [マスターリース] では貸主と借主間の一般的な契約条件を指定しますが、リース対象の資産と賃貸条件は指定しません。 [リース明細] は、マスターリースに階層的に関連付けられた付属契約で、マスターリースの特徴を継承します。

契約のタイプ

AssetCenterでは、様々なタイプの契約を管理できます。契約の詳細画面の上部の [タイプ] (seType) フィールドには、契約のタイプが表示されます。このフィールドの値をリストデータから選択すると、その値に応じて契約の詳細画面に表示されるタブとその内容が決まります。

| 契約タイプ | 詳細 | ナビゲーションバーのリンク | 特有のタブ |
|---------|--|---|--|
| マスターリース | リース契約の全般的な条件を定義します。実際にリースする資産の明細や支払条件は定義されません。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ [契約 / 契約] ■ [契約 / リース / マスターリース] | <ul style="list-style-type: none"> ■ [リース] ■ [明細] |
| リース明細 | 以下の事が出来ます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ リース明細（またはレンタルの同意事項）の定義 ■ 契約に含まれる資産のリストと支払条件の明記 | <ul style="list-style-type: none"> ■ [契約 / 契約] ■ [契約 / リース / リース明細] | [リース] |
| メンテナンス | 以下の事が出来ます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ メンテナンス契約の定義 ■ この契約に関連する作業指示の管理 | [契約 / 契約] | [メンテナンス] |
| 保険 | 保険契約（保険証券）を定義します。 | [契約 / 契約] | |
| ライセンス | ライセンスの同意事項を定義します。 | [契約 / 契約] | [ライセンス] |
| 一括発注 | [一括発注] タイプの契約では、購入者は指定された期間内に指定された最低金額分の製品を購入しなければなりません。期限までに最低金額に達しない場合は、購入者に罰則が適用されます。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ [契約 / 契約] ■ [契約 / 一括発注タイプ の契約] | |
| ASP | アプリケーションサービスとは、アプリケーションサービスプロバイダ（ASP）と呼ばれるサードパーティによりホスティングされるソフトウェアアプリケーションを指します。定期購入契約はこれに使用されます。従業員は通信プロトコル（インターネット、X-25など）を介してこのアプリケーションを利用します。 | [契約 / ASP / アプリケーションサービス] | <p>アプリケーションサービスの詳細画面では、一般の契約の詳細画面にない項目を補っています。</p> <p>Windowsクライアントで [契約] ボタンをクリックするか、Webクライアントで [状況依存アクション] ドロップダウンリストから [契約] エントリを選択すると、限定された画面から一般の画面にアクセスできます。</p> |

| 契約タイプ | 詳細 | ナビゲーションバーの リンク | 特有のタブ |
|-------|--------------------------|-------------------|-------|
| その他 | 上記のどのタイプにも該当しない契約を定義します。 | [契約 / 契約] | |

契約に関連付けられたドキュメント

契約にドキュメントを追加する

契約にドキュメントを追加するには、複数の方法を利用できます。

- 方法1: ウィザードを使用する
 - 1 契約の詳細画面で次を実行します。
 - Windowsクライアント:
 - ウィンドウの右側にある [ドキュメント] をクリックします。
 - または、
 - 契約の詳細の [ドキュメント] タブを右クリックし、ショートカットメニューから [アクション/ドキュメントの追加/変更] を選択します。
 - または、
 - ナビゲーションバーから [契約/ドキュメントの追加/変更] リンクをクリックします。
 - Webクライアント:
 - [状況依存アクション] ドロップダウンリストから [ドキュメント] を選択します。
 - または、
 - ナビゲーションバーから [契約/ドキュメントの追加/変更] リンクをクリックします。
 - 2 [ドキュメントの作成/更新] ウィザードが起動します。
 - 3 [新しいドキュメントの作成] オプションを選択します。
 - 3 ウィザードに表示される指示にしたがいます。
- 方法2: [ドキュメント] タブから
 - 1 契約の詳細画面で [ドキュメント] タブをクリックし、次に [+] ボタン (Windowsクライアント) または [追加] (Webクライアント) をクリックします。
 - [ドキュメントの追加] ウィンドウが表示されます。
 - 2 必要なフィールドに入力し、[追加] (Windowsクライアント) または [保存] (Webクライアント) をクリックします。

契約に関連付けられたドキュメントを変更する

- 方法1: ウィザードを使用する
 - Windowsクライアント:
 - ウィンドウの右側にある [ドキュメント] をクリックします。
または、
契約の詳細の [ドキュメント] タブを右クリックし、ショートカットメニューから [アクション/ドキュメントの追加/変更] を選択します。
または、
ナビゲーションバーから [契約/ドキュメントの追加/変更] リンクをクリックします。
 - Webクライアント:
 - [状況依存アクション] ドロップダウンリストから [ドキュメント] を選択します。
または、
ナビゲーションバーから [契約/ドキュメントの追加/変更] リンクをクリックします。
- 1 [既存ドキュメントを編集] オプションを選択します。
- 2 ウィザードに表示される指示にしたがいます。
- 方法2: [書類] タブを使用する
 - 1 契約の詳細画面で [ドキュメント] タブをクリックし、変更したいドキュメントの詳細を表示します。
 - 2 ドキュメントを変更し、[変更] (Windowsクライアント) または [保存] (Webクライアント) ボタンをクリックします。

契約に関連付けられたドキュメントの自動承認

ここでは、AssetCenterを使用したドキュメントの承認を自動化する方法と、自動化の設定方法について説明します。

[契約] モジュールの専門分野データには [契約ドキュメントの承認] (BST_CNTR_DOC_APPR) という名前のワークフローチャートが含まれます。

このワークフローチャートでは、契約に関連付けられたドキュメントの承認が自動的に行われます。

ワークフローチャートをトリガするイベント

- 次のイベントが発生すると、ワークフローチャートが起動します。
 - ドキュメントを追加する

ワークフローの継続に必要な条件 次のフィールドが指定した値に設定されると、ワークフローチャートは継続して実行されます。

| テーブル名 | フィールドまたはリンクの名前 | フィールド値 |
|-----------------------|----------------------|---------------------------|
| ドキュメント (amDocument) | テーブル (DocObjTable) | amContract |
| 契約 (amContract) | 責任者 (Supervisor) | 空ではない |
| ドキュメント (amDocument) | ステータス (seStatus) | 未承認 |
| 契約 (amContract) | 契約ステータス (seStatus) | [却下済] や [保留] とは異なります。 |

ワークフロー はい

チャートの起動と実行にAssetCenter Serverが必要か?

- ワークフローチャートの簡単な説明
- このワークフローチャートは契約に追加されたドキュメントの承認依頼を作成します。
この承認依頼は、契約責任者が定義されている場合は契約責任者に割り当てられたワークフローアクティビティに、それ以外の場合はファイナンスグループ (SYS_CORE_FINANCE) に直接割り当てられたワークフローアクティビティに変換されます。
 - 契約責任者が定義されていてその契約責任者が承認依頼を承認すると、承認依頼が作成されファイナンスグループに割り当てられます。
 - 承認依頼が却下された場合 (契約責任者またはファイナンスグループによって)、ドキュメントのステータスは [却下] に設定されます。
 - ファイナンスグループと契約責任者によりすべての依頼が承認された場合、ドキュメントのステータスは [承認済] に設定されます。
契約責任者が定義されている場合、通知メッセージが送られます。

このワークフローチャートの特徴は次の通りです。

契約の依頼を依頼する前に、次の設定を行ってください。

- グループを表示します (ナビゲーションバーの [組織 / 従業員グループ] リンク)。
- ファイナンスグループを表示します。

| フィールドまたはリンク | コメント |
|--------------------|---|
| 責任者 (Supervisor) | ワークフローアクティビティが [契約ドキュメントの承認] ワークフローチャートで作成されると、このリンクで指定されたユーザは通知メッセージを受け取ります。ユーザはこれらのワークフローアクティビティを表示することもできます。 |

[グループ構成] タブ

| フィールドまたはリンク | コメント |
|-------------|--|
| メンバー | グループメンバーは [契約ドキュメントの承認] ワークフローチャートによって作成されたドキュメント承認依頼のワークフローアクティビティを閲覧します。 |

少なくとも次のフィールドとリンクには入力してください。

AssetCenter Serverを設定する

AssetCenter Serverは、 [契約ドキュメントの承認] ワークフローチャートをトリガするかどうか、初期ワークフローイベントのスケジュール設定にしたがって確認します。

AssetCenterでこのタスクを実行するには、次の手順に従います。

- 1 AssetCenter Serverを起動します。
- 2 AssetCenterデータベースに接続します ([ファイル/データベースに接続] メニュー)。
- 3 モジュールを表示します ([ツール/モジュールの設定] メニュー)。
- 4 [実行グループなしでフローチャートにワークフロー規則を適用] モジュールを選択します。
- 5 モジュールをトリガするスケジュールを定義します ([検証スケジュール])。

バックグラウンドタスクとしてAssetCenter Serverを起動する。

[実行グループなしでフローチャートにワークフロー規則を適用] モジュールを定期的に行うには、AssetCenter Serverをバックグラウンドで実行する必要があります。

ドキュメントの承認依頼を承認または却下する

各承認依頼に対して、 [契約ドキュメントの承認] ワークフローチャートはワークフローアクティビティを作成します。

これらのワークフローアクティビティは契約責任者と承認担当のファイナンスグループに割り当てられます。

タスクが割り当てられた契約責任者とグループのメンバーはワークフロータスクを閲覧することができます。

承認依頼を承認または却下するには、次の手順に従います。

- 1 責任者またはグループメンバーの一人としてログインし、AssetCenterに接続します。
- 2 ワークフロータスクを表示します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理/ワークフローのタスク] リンク)。
- 3 承認依頼に対応するタスクを選択します。
- 4 選択したワークフロータスクを確認します。

- 5 Windowsクライアント：[承認]または[却下]をクリックし、次に[変更]をクリックします。
Webクライアント：[承認]または[却下]をクリックし、次に[保存]をクリックします。

現在のドキュメントの承認ステータスを表示する

警告:

この機能はWindowsクライアントでのみ使用できます。

- 1 ナビゲーションバーの[契約/契約ドキュメント]リンクをクリックします。
- 2 [ワークフロー]タブで、リストから目的の契約ドキュメントを選択し、現在の承認ステータスを確認します。

4 手順2 - 契約に資産を追加する

この章では、契約を資産と関連付ける方法ならびに次の点について説明します。

- 契約の資産リストを確認する
- 資産と契約との間のリンクを削除する

契約に資産をリンクする

手動の方法

資産と契約をリンクする手順は、契約のタイプによって異なります。

表 4.1. 資産と契約をリンクする

| 契約タイプ | 手順 |
|--------|---|
| メンテナンス | <ol style="list-style-type: none">1 資産リストを表示します（ [ポートフォリオ / 資産とロット] メニュー ）。2 資産を選択します。3 [メンテナンス] タブを選択します。4 メンテナンス契約（ MaintContract ）リンクを入力します。5 これらの変更を確定します（ [変更] ボタン ）。 <p>注意:</p> <p>このようにして、契約は資産の詳細画面の [契約] タブに自動的に表示されます。</p> |

契約タイプ リース明細

手順

方法1:

- 1 資産リストを表示します（ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / 資産] リンク）。
- 2 [取得] タブを選択します。
- 3 [調達] サブタブを選択します。
- 4 [取得方法]（ seAcquMethod ）フィールドに [購入] 以外の値を入力します。
- 5 [リース明細] フィールド（ AcquContract ）を入力します。
- 6 これらの変更を確定します（ [変更] ボタン）。

注意:

このようにして、契約は資産の詳細画面の [契約] タブに自動的に表れるようになります。

方法2:

警告:

これは、Windowsクライアントでは可能ですが、Webクライアントでは不可能です。

- 1 ナビゲーションバーにあるリンクのいずれかを使用して契約リストを表示します。
- 2 [資産（リース）] タブを選択します。
- 3  ボタンをクリックします。
- 4 契約に追加する資産を選択します。
- 5 選択を確定します（ [選択] ボタン）。
- 6 契約の [支払属性]（ sePayType ）フィールドが [賃貸料] または [両方] に設定されている場合は、 [資産を契約に追加:賃貸料の支払の選択] ウィンドウが表示されます。
このウィンドウを変更しないで確定します（ [選択] ボタン）。
- 7 これらの追加を確定します（ [変更] ボタン）。

ヒント:

- [取得方法]（ seAcquMethod ）フィールドには、契約レベル（ [全般] タブ）の [取得方法]（ seAcquMethod ）フィールドの値が入ります。
- [調達] サブタブページには、貸主の名前とリファレンスが入力され、 [リース明細] フィールド（ AcquContract ）にリンクしたリース契約のリファレンスが表示されます。
- [価格と条件] サブタブページには、リース期間の開始日と終了日が表示されます。

| 契約タイプ | 手順 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ その他 ■ 保険 ■ メンテナンス ■ ライセンス | <p>方法1:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 資産リストを表示します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / 資産] リンク)。 2 [契約] タブを選択します。 3  ボタンをクリックします。 4 [資産に契約を追加] ウィンドウが表示されます。 このウィンドウに必要な情報を入力します。 入力した情報を確定します ([追加] ボタン)。 5 これらの追加を確定します ([変更] ボタン)。 <hr/> <p>方法2:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ナビゲーションバーにあるリンクのいずれかを使用して契約リストを表示します。 2 [資産] タブを選択します。 3  ボタンをクリックします。 4 [契約に資産を追加] ウィンドウが表示されます。 このウィンドウに必要な情報を入力します。 入力した情報を確定します ([追加] ボタン)。 5 これらの追加を確定します ([変更] ボタン)。 |

調達モジュールを使用する

調達サイクルを使うと、資産と契約との関連付けを管理することができます。

既存の契約または取得予定の契約を参照することができます。

既存の資産または取得予定の資産を参照することができます。

この機能を利用すると、資産と契約を自動的に作成またはリンクすることができますため非常に便利です。発注を受けると、資産と契約が作成され、必要に応じて AssetCenter 内で相互にリンクされます。

操作手順については、マニュアル『調達』の「特別な例」の部の「契約」の章を参照してください。

注意:

「リース明細」タイプの契約の場合:

発注した資産を受領すると、たとえ却下する場合でも資産はデータベースに作成されます。[取得状況] (seAcquStatus) は [受領済] に設定されますが (資産の [取得] タブ、[調達] サブタブ)、後でそれらを検収することができます。正しく承認されると、[取得状況] フィールドは [検収済] に設定されます。

▶ 手順5 - 資産を検収する [献 77]

契約上の資産のリストを確認する

契約上の資産のリストを確認するには、次の手順に従います。

- 1 ナビゲーションバーにあるリンクのいずれかを使用して契約リストを表示します。
- 2 リスト画面で契約を選択します。
- 3 次のタブのいずれかを選択します。

| 契約タイプ | タブ |
|--------|----------|
| リース明細 | 資産 (リース) |
| 保険 | 資産 |
| メンテナンス | 資産 |
| ライセンス | 資産 |
| その他 | 資産 |

資産に関連付けられた契約のリストを確認する

資産に関連付けられた契約のリストを確認するには、次の手順に従います。

- 1 資産のリストを表示します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / 資産] リンク)。
- 2 資産の詳細画面を表示します。
- 3 次のタブのいずれかを選択します。

| 契約タイプ | タブ | サブタブ | フィールドまたはリンク |
|--------|----------|------|-----------------------------|
| リース明細 | 取得 契約 | 調達 | リース明細 (AcquContract) |
| 保険 | 契約 | | |
| メンテナンス | メンテ | | メンテナンス契約 (MaintContract) |
| ライセンス | 契約 | | |

| 契約タイプ | タブ | サブタブ | フィールドまたはリンク |
|-------|----|------|-------------|
| その他 | 契約 | | |

資産と契約とのリンクを削除する

なぜ資産と契約とのリンクを削除するのか？

資産と契約とのリンクを削除するのは、リンクが誤って作成された場合にのみ行います。

正常な状況では、このリンクを削除してはいけません。資産が指定日以降契約対象ではないことを指定する方法は他にもあります。

このリンクを保持することで、ある期間に資産が契約対象であったことが履歴として残ります。

資産と契約とのリンクを削除する

資産と契約とのリンクを削除するには、次の選択肢の中から1つを選択します。

- 契約の詳細画面からの方法
 - 1 [資産] または [資産 (リース)] タブを選択します。
 - 2 リンクを解除する資産を選択します。
 - 3 Windowsクライアント： ボタンをクリックします。
Webクライアント： [削除] ボタンをクリックします。
- 資産の詳細画面での方法
 - 1 [契約] タブを選択します。
 - 2 リンクを解除する契約を選択します。
 - 3 Windowsクライアント： ボタンをクリックします。
Webクライアント： [削除] ボタンをクリックします。

資産が契約対象ではなくなったことを指定する

資産が契約対象でなくなるのには複数の理由があるため、それぞれのケースに応じた処理が必要です。

| ケース | 変更するテーブル | 変更するフィールド | コメント |
|-------------------------------------|-----------------------------|----------------------------|---|
| この契約の契約対象のすべての資産について期間満了になりました。 | 契約 (amContract) | 終了 (dEnd) | この日付は契約期間が満了間近であることを示しています。満了すると、リンクされたすべての資産は契約対象から外れることとなります。 |
| ある資産は契約対象ではなくなりますが、その他の資産はまだ契約対象です。 | 契約上の資産 (amAstCntrDesc) | 削除予定日 (dPlannedRemov) | 契約満了日とは異なる削除予定日を設定したい場合は、このフィールドで資産の実際の削除予定日を指定する必要があります。 |
| 資産は期間満了時に貸主に返却されません。 | | | ▶手順7- 損失額の定義 [献 93] |
| 資産は期間満了時に貸主から買い取られます。 | | | ▶手順7- 損失額の定義 [献 93] |
| 資産は期間満了前に紛失または盗まれました。 | | | ▶手順7- 損失額の定義 [献 93] |

5 手順3 - 賃貸料を定義する

この章では、契約賃貸料の定義方法ならびに次の点について説明します。

- 賃貸料の支払を追加する
- 賃貸料の支払スケジュールを定義する
- 賃貸料の分配方法を選択する

主要な概念

賃貸料の支払は契約ごとに定義され、しばしば資産まで影響が及びます。契約賃貸料と資産の賃貸料は別々のテーブルに格納されます。

- 契約賃貸料テーブル (amCntrRent)
- 資産の賃貸料テーブル (amAssetRent)

契約のレベルで賃貸料を追加する

契約賃貸料は、契約の詳細画面の [賃貸料] タブページに記述されます。マスターリースを除くすべての契約は賃貸料によって支払われることができます。このタブページは、契約の詳細画面で次の2つの条件が満たされた場合にのみ表示されます。

- [タイプ] フィールド (seType) がマスターリース以外の値に設定されている。

- 支払属性（sePayType）フィールドが [賃貸料] または [両方] に設定されている。

Windowsクライアントタブによる [賃貸料] の表示方法を選択する

[賃貸料] は次の2つの方法で表示できます。

- 1 タブ形式
- 2 リスト形式

表示モードを切り替えるには、[賃貸料] タブ内（タブのタイトル上ではない）を右クリックし、ショートカットメニューから [タブ形式で表示] または [リスト形式で表示] を選択します。

タブ形式で契約に賃貸料を追加する（Windowsクライアントのみ）

- 1 [賃貸料] タブを表示します。
- 2 [賃貸料] タブの左下にあるサブタブを右クリックします。
- 3 [リンクレコードの追加] を選択します。
- 4 新しいサブタブページに情報を入力します。

賃貸料の支払スケジュールの入力方法を調べるには：▶ [賃貸料の支払スケジュールを入力する](#) [献 49]

賃貸料の分配方法の選択の仕方を調べるには：▶ [賃貸料の配賦方法](#) [献 51]

賃貸料の経費配賦方法の定義の仕方を調べるには：▶ [賃貸料にリンクする経費](#) [献 87]

- 5 [変更] をクリックします。

リスト形式で表示された契約に賃貸料を追加する（Windowsクライアント）

- 1 [賃貸料] タブを表示します。
- 2 [+] ボタンをクリックします。
- 3 賃貸料の詳細画面に必要な情報を入力します。

賃貸料の支払スケジュールの入力方法を調べるには：▶ [賃貸料の支払スケジュールを入力する](#) [献 49]

賃貸料の分配方法の選択の仕方を調べるには：▶ [賃貸料の配賦方法](#) [献 51]

- 4 [追加] をクリックします。
- 5 [変更] をクリックします。

リスト形式で表示された契約に賃貸料を追加する（Webクライアント）

- 1 [賃貸料] タブを表示します。

- 2 [追加] をクリックします。
- 3 賃貸料の詳細画面に必要な情報を入力します。
賃貸料の支払スケジュールの入力方法を調べるには：▶[賃貸料の支払スケジュールを入力する](#) [献 49]
賃貸料の分配方法の選択の仕方を調べるには：▶[賃貸料の配賦方法](#) [献 51]
- 4 [OK] をクリックします。
- 5 [保存] をクリックします。

資産のレベルで賃貸料を追加する

賃貸料の支払を資産のレベルで直接作成することはできません。契約賃貸料が資産に比例配分または配賦される状況で、この資産が契約に追加された時に資産レベルの賃貸料が自動的に作成されます。

この資産レベルの情報は、リース契約の詳細画面の [賃貸料] タブページの情報と同様です。

資産の賃貸料の詳細は、資産の詳細画面の [賃貸料] タブで確認することができます。

注意:

このタブは、[取得方法] (seAcquMethod) フィールドで指定する資産の取得方法が [レンタル] の場合にのみ表示されます。

契約の詳細画面で資産がリース明細に追加されると、AssetCenterは資産の取得方法を自動的に更新し、[賃貸料] タブが表示されます。

資産レベルの賃貸料は、契約レベルで賃貸料を資産レベルに配賦しないことを指定したり、賃貸料の支払を契約から削除したりすると自動的に削除されます。

賃貸料の支払スケジュールを入力する

ここでは、賃貸料の支払スケジュールを指定するフィールドについて説明します。

賃貸料の支払スケジュールを指定するフィールド

表 5.1. 賃貸料 - 賃貸料の支払スケジュールを指定するフィールド

| フィールドラベル | フィールドのSQL名 | 使用法 |
|----------|---------------|--|
| 回数 | sePeriodicity | 支払回数 |
| 開始 | dStart | 賃貸期間の開始日 |
| 終了 | dEnd | 賃貸期間の終了日 |
| | | 🔔アイコンを使用して、終了日を知らせるアラームを設定することができます (Windowsクライアントでのみ使用できません)。 |
| 支払 | seAdvArrears | 賃貸料を [回数] フィールドで定義した賃貸期間の開始日に支払うか、終了日に支払うかどうかを決定します。 |
| 支払期日 | tsBillCycDay | [支払] フィールドに入力した値を基準として、賃貸料を支払う日時 (何月何日で表示) を決定します。 負の値を入力することもできます。 |
| 猶予 | tsGrace | 賃貸料の支払が遅れたときの猶予期間を指定します。 |

[回数] フィールドの働きの詳細

[回数] フィールドに応じて、AssetCenterは以下の方法でレンタル期間の開始日を設定します。

表 5.2. [回数] フィールド - 概要

| [回数] フィールドの値 | 支払期間の開始日 |
|--------------|--------------------------------|
| 毎日 | 00:00 |
| 毎週 | 月曜日 |
| 月2回 | 各月の1日と16日 |
| 月1回 | 各月の1日 |
| 隔月 | 1月1日、3月1日、5月1日、7月1日、9月1日、11月1日 |
| 年4回 | 1月1日、4月1日、7月1日、10月1日 |
| 年2回 | 1月1日と7月1日 |
| 年1回 | 1月1日 |

賃貸料の支払スケジュールの適用方法の例

例1

次の値を入力した場合：

| フィールドラベル | フィールドのSQL名 | 値 |
|----------|---------------|-----|
| 回数 | sePeriodicity | 月1回 |
| 支払 | seAdvArrears | 先払い |
| 支払期日 | tsBillCycDay | -5日 |

この場合、支払期日は指定されている賃貸期間の開始日（その月の1日）の5日前になります。

例2

次の値を入力した場合：

| フィールドラベル | フィールドのSQL名 | 値 |
|----------|---------------|-----|
| 回数 | sePeriodicity | 月1回 |
| 支払 | seAdvArrears | 先払い |
| 支払期日 | tsBillCycDay | 4日 |
| 猶予 | tsGrace | 7日 |

この例では、月初めの1日から4日後、つまり5日までに賃貸料を支払わなければなりません。貸主は支払の遅れを7日間まで許容します。この結果、借主は月の12日までに支払えばいいこととなります。

賃貸料の配賦方法

ここでは、さまざまな配賦方法を紹介し、その適切な選択方法について説明します。

賃貸料の比例配分方法を選択する

手順

賃貸料の比例配分方法を選択するには、次の手順に従います。

- 1 契約の詳細画面を表示します。
- 2 [賃貸料] タブを表示します。
- 3 賃貸料の詳細画面を表示します。

4 [賃貸料の比例配分] (seProrateRule) フィールドに必要な情報を入力します。

次の比例配分方法のいずれかを選択できます。

| 比例配分方法 | 計算方法 |
|---------------------|---|
| 資産に賃貸料を配分または配賦しない | 賃貸料は契約ごとに計算され、資産には配賦されません。 |
| すべての資産に賃貸料を比例配分して配賦 | 賃貸料は契約ごとに計算されてから、契約上の各資産に配賦されます。 |
| 選択した資産に賃貸料を比例配分して配賦 | 賃貸料は契約ごとに計算されてから、契約上の選択した資産に配賦されます。 |
| すべての資産に1件当たりの賃貸料を配賦 | 1件当たりの賃貸料の支払額は契約ごとに定義され、その後契約上の各資産に現状のまま配賦されます。 |
| 選択した資産に1件当たりの賃貸料を配賦 | 1件当たりの賃貸料の支払額は契約ごとに定義され、その後、契約上の選択した資産に現状のまま配賦されます。 |

選択方法

賃貸料を契約上のすべての資産に比例配分または配賦する場合

- すべての資産の賃貸料のパラメータが同じで、賃貸料をすべての資産に適用するときです。

賃貸料を契約上の選択した資産に比例配分または配賦する場合

- 選択した資産に応じて、異なる料率または1件当たりの賃貸料を配分するときです。

このように、リース契約の場合、借主はこの方法を使って複数のリース賃貸料を作成し、それぞれを選択した資産ごとに配分できます。このオプションを使うと、特定のブランドの資産には特定の料率で計算する賃貸料または1件当たりの賃貸料を設定し、料率または1件あたりの賃貸料の異なる別のブランドの資産には別の賃貸料を設定することができます。

- さらに、契約賃貸料を契約上の主資産と見なされる資産だけに配分し、その他の資産には配分しないことを選択できます。

例えば、PCの保守に関連する賃貸料をハードドライブだけに配分し、ディスプレイには配分しないようにすることができます。

賃貸料を資産に配分しないオプション

- 契約上の資産のリストが賃貸料の支払額に影響しない場合。
資産に配分しないので、契約期間中に資産を追加または削除しても、賃貸料の支払額は変更されません。

例：定額保険料

- 時間とディスク容量を節約する場合。
- 資産の詳細を考慮せずに、契約内容を検討する場合。

すべての資産または選択した資産に契約賃貸料を配分する

ここでは、賃貸料の支払を契約上のすべての資産または選択した資産に配分する方法について説明します。

実行手順

AssetCenterで実行される自動計算が正しく機能するためには、次の手順に従ってください。

- 1 契約を作成します。契約賃貸料は作成しません。
- 2 契約に資産を追加します。

警告:

資産レベルの賃貸料を定義しないでください。

資産の賃貸料は、必要に応じて自動的に契約賃貸料から計算されます。

各資産の [市場価格] (mMarketVal) フィールドに必要な情報を入力します ([取得] タブ、 [調達] サブタブ)。

- 3 契約賃貸料を作成します (契約の [賃貸料] タブ)。

警告:

この機能はWindowsクライアントでのみ使用できます。

特に次のフィールドとリンクに必要な情報を入力してください。

| フィールドまたはリンク | 値 |
|----------------------------|--|
| 賃貸料の比例配分 (seProrateRule) | <ul style="list-style-type: none"> ■ すべての資産に賃貸料を比例配分して配賦 ■ 選択した資産に賃貸料を比例配分して配賦 |

フィールドまたはリンク

主賃貸料 (bMainRent)

値

複数の種類の賃貸料の支払がある場合は、主賃貸料と派生的な賃貸料との支払を区別する必要があります。リースタイプの契約に固有の初回賃貸料は、主賃貸料の支払がある場合のみ存在する賃貸料なので、リースではこの概念が重要になります。

主賃貸料に適用する原則は以下のとおりです。

- ある特定の支払がある契約の主賃貸料の支払である場合、この支払はこの契約に関連する全資産の主賃貸料の支払になります。
- 契約1件につき、主賃貸料は1件のみです。

ある賃貸料の支払を主賃貸料の支払として定義するには、賃貸料の全般サブタブページの [主賃貸料] (bMainRent) オプションを選択します。

警告:

AssetCenterは、契約または資産1件につき、主賃貸料の支払が1件のみであるかどうかを検証することはありません。

-
- 4 賃貸料の適用を選択した資産に制限したい場合は、[賃貸料の比例配分] フィールド (seProrateRule) の右側にある  アイコンをクリックします。契約に含まれている資産のリストが表示されます。

このリストから賃貸料を配賦する資産を選択します。

[選択] をクリックし、資産の選択を確定します。

重要項目:

賃貸料に関連付ける資産すべてを同時に選択する必要があります。

[選択] をクリックすると以前の選択は取り消され、新しい選択で上書きされます。

重要項目:

契約賃貸料の詳細画面で [検収日] オプション (bFromAcceptDate) を選択すると、契約上の資産が受領されるまでその賃貸料の支払の経費明細は計算されません。

 ヒント:

選択した資産を変更（追加または削除）する場合は、[賃貸料の比例配分]（seProrateRule）フィールドの右側にある  アイコンをもう一度クリックして、選択内容を変更します。

[選択] をクリックし、新しく選択した資産を確定します。

契約レベルで賃貸料を計算する

契約の詳細画面の [賃貸料] タブページには、賃貸料のリストと詳細が表示されます。

賃貸料の支払額は次のフィールドで計算されます。

表 5.3. 賃貸料 - 契約賃貸料の計算に使用されるフィールド

| フィールドラベル | SQL名 | 使用法 |
|----------|-----------|--|
| 市場価格 | mValue | このフィールドの値は、賃貸料に関連付けられた資産の [市場価格]（mMarketVal）フィールドの合計になります。 警告: この値は、賃貸料の詳細を定義する前に契約に資産を追加した場合にのみ、正しく計算されます。 |
| 料率 | pLRF | 契約条件に対応する値を手動で入力します。 |
| 賃貸額 | mPayments | 賃貸料の支払額は、[料率] フィールド（pLRF）の値を賃貸料の [市場価格] フィールド（mValue）に適用することで計算されます。 |

資産レベルの賃貸料を計算する

賃貸料は、契約上の各資産ごとに契約レベルの次のフィールドで定義された条件に基づき計算されます。

表 5.4. 賃貸料 - 資産の賃貸料の計算に使用されるフィールド

| フィールドラベル | SQL名 | 使用 |
|----------|-----------------|---|
| 賃貸料 | mPayments | このフィールドには、賃貸料に関連付けられたすべての資産の合計賃貸額が格納されます。 |
| 比例配分方法 | ProrateField | このフィールドは、資産ごとに賃貸料を比例配分および配賦するのに使用される資産のフィールドを指定します。 |
| 四捨五入 | fPrecision | このフィールドは、比例配分計算後の賃貸料の値をどのように四捨五入するか指定します。 |
| 検収日 | bFromAcceptDate | このオプションは、[タイプ] (seType) フィールドがリース明細に設定されている契約の場合のみ使用されます。 このオプションを解除すると、資産賃貸料の支払は賃貸開始日に開始します。 このオプションを選択すると、資産の検収日から第1回目の賃貸契約期間を対象とする初回賃貸料の支払が作成されます。 |

賃貸料を資産に配分するための参照フィールドを選択する

賃貸料を資産に配分するための参照フィールドは、契約賃貸料の [比例配分方法] フィールド (ProrateField) によって定義されます。

[比例配分方法] フィールドは次の値に設定することができます。

| 値 | 賃貸料を資産に比例配分するための参照として使用されるフィールドの場所 (資産の詳細画面) | | この参照フィールドが表示されるために [取得方法] (seAcquMethod) フィールドがとるべき値 ([取得] タブ、[調達] サブタブ)。 |
|-----------------------|--|-------|---|
| | タブ | サブタブ | |
| 支払 (mPayments) | 賃貸料 | 全般 | <ul style="list-style-type: none"> ■ レンタル ■ リース |
| 転売価格 (mResalePrice) | | 全般 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 購入 ■ レンタル ■ リース |
| 購入価格 (mPrice) | 取得 | 価格と条件 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 購入 |

| 値 | 賃貸料を資産に比例配分するための参照として使用されるフィールドの場所 (資産の詳細画面) | | |
|--------------------|--|-------|---|
| | タブ | サブタブ | |
| | | | この参照フィールドが表示されるために [取得方法] (seAcquMethod) フィールドがとるべき値 ([取得] タブ、[調達] サブタブ)。 |
| 表記価格 (mListPrice) | 取得 | 価格と条件 | |
| 税金 (mIntPayTax) | 取得 | 価格と条件 | <ul style="list-style-type: none"> ■ レンタル ■ リース |
| 税金 (mTax) | 取得 | 価格と条件 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 購入 |
| 市場価格 (mMarketVal) | 取得 | 調達 | |
| 買取額 (mPurchOptVal) | 取得 | 価格と条件 | <ul style="list-style-type: none"> ■ リース |
| 残存価額 (mNetValue) | 固定資産 | | <ul style="list-style-type: none"> ■ 購入 |
| 初回金 (mIntPay) | 取得 | 価格と条件 | <ul style="list-style-type: none"> ■ レンタル ■ リース |

注意:

[市場価格] (mMarketVal)、[買取額] (mPurchOptVal)などの特定の参照フィールドはどちらかと言うとリース賃貸料の計算に使用されます。

他のフィールドは、賃貸またはリース以外で取得した資産の賃貸料を計算するのに使われます。例えば、保険料は契約賃貸料と見なされるので、[購入価格] フィールドに比例して、購入した資産に配賦 (配分) されます。

慣習として、これら参照フィールドの値を「比例配分値」と呼ぶことにします。資産の [支払] (mPayments) フィールドを計算する式は次のとおりです。

$$\text{資産賃貸料} = \text{契約賃貸料} \times \frac{\text{資産1件の比例配分値}}{\sum \text{契約上の資産の比例配分値}}$$

四捨五入

丸め誤差は、最初の賃貸資産に繰り越されます。AssetCenter Serverは、最初の資産を除く各資産の賃貸料を計算し、その結果派生した誤差を最初の資産の賃貸料に繰り越して、資産賃貸料の合計が契約賃貸料に等しくなるように調整します (どれを最初の資産と見なすかは、データベース管理システムとそのインデックスの設定方法によって決まります)。

四捨五入の値が「0」に設定されている場合は、各資産の賃貸料を浮動小数のデフォルトの精度で計算します。例えば、価格が「100」の契約賃貸料を3つの資産

に分割する場合は、指定した四捨五入の値によって次のように各資産の賃貸料が算出されます。

- 四捨五入の値が0.01の場合
 - 1 33,34
 - 2 33,33
 - 3 33,33
- 四捨五入の値が0の場合
 - 1 33.33333333333333433
 - 2 33.3333333333333254
 - 3 33.3333333333333254

 注意:

四捨五入の値は、税金の値を配分する場合にも使われます。

賃貸料に関連付けられた資産に分配される賃貸料の計算例

ある企業が次に示す3つの資産をリースすると仮定します。

- 2台のPC (XとY) (市場価格はそれぞれ\$1500)
- 1台のPC (Z) (市場価格は\$2000)
- 契約賃貸料は市場価格によって比例配分されます。

契約の初期料率は3%です。

契約賃貸料を計算する

| | |
|-------|-----------------------|
| 契約賃貸料 | = 契約賃貸料の値 × 料率 |
| | = 契約上の資産の市場価格の合計 × 料率 |
| | = \$5000 × 3% |
| | = \$150 |

資産の賃貸料を計算する

| | |
|-------|---|
| Yの賃貸料 | = 契約賃貸料 × 「Y」の比例配分値 / (「X」、 「Y」、 「Z」の比例配分値の合計) |
| | = 契約賃貸料 × 「Y」の市場価格 / (「X」、 「Y」、 「Z」の市場価格の合計) |
| | = 150 × 1500 / (1500 + 1500 + 2000) |

| | |
|-------|-----------------------------|
| | = \$45 |
| Zの賃貸料 | = 1500 2000 / 5000 = \$60 |
| Xの賃貸料 | = 契約賃貸料 - (「X」以外の資産の賃貸料の合計) |
| | = 150 - 45 - 60 |
| | = \$45 |

契約上のすべての資産または選択した資産に1件当りの賃貸料を配賦する

ここでは、契約賃貸料を計算し、契約賃貸料に関連付けられたすべての資産に1件当りの賃貸料を配賦する手順を説明します。

実行手順

「すべての資産または選択した資産に契約賃貸料を配分する [献53]」の節に記載された手順を使用します。

次のフィールドの手順のみ異なります。

| フィールドまたはリンク | 値 |
|----------------------------|--|
| 賃貸料の比例配分 (seProrateRule) | <ul style="list-style-type: none"> すべての資産に1件当りの賃貸料を配賦 選択した資産に1件当りの賃貸料を配賦 |

なお、資産の [市場価格] フィールドは空のままにしておくこともできます ([取得] タブ、 [調達] サブタブ)。

資産レベル、契約レベルの賃貸料を計算する

契約の詳細画面の [賃貸料] タブページには、賃貸料のリストと詳細が表示されます。

賃貸料の支払額は次のフィールドから計算されます。

表 5.5. 賃貸料 - 契約賃貸料の計算に使用されるフィールド

| フィールドラベル | SQL名 | 使用法 |
|----------|---------------|----------------------------------|
| 1件当賃貸料 | mUnitPayments | 契約賃貸料に関連付けられた資産ごとの賃貸料の支払額を定義します。 |

次の計算が行われます。

- 契約の賃貸料は以下と等しくなります。

| |
|----------------------------------|
| 契約賃貸料 = 1件当たりの賃貸料 × 選択した契約にある資産数 |
|----------------------------------|

- | |
|----------------------|
| 資産ごとの賃貸料 = 1件当たりの賃貸料 |
|----------------------|

資産の賃貸料は以下と等しくなります。

契約上の資産に賃貸料を配賦しない

ここでは、契約賃貸料を計算し、資産に配分しない場合の手順について説明します。

実行手順

AssetCenterで実行される自動計算が正しく機能するためには、次の手順に従ってください。

- 1 契約を作成します。契約賃貸料は作成しません。
- 2 資産の賃貸料を作成しないで、契約に資産を追加します（資産の詳細画面の [取得] タブ）。
各資産の [市場価格] (mMarketVal) フィールドに必要な情報を入力します（ [取得] タブ、 [調達] サブタブ）。
- 3 契約賃貸料を作成します（契約の [賃貸料] タブ）。
特に次のフィールドとリンクに必要な情報を入力してください。

| フィールドまたはリンク | 値 |
|--------------------------|----------------------|
| 賃貸料の比例配分 (seProrateRule) | 資産に賃貸料を配分または配賦しない |
| 主賃貸料 (bMainRent) | 主賃貸料ではこのオプションを選択します。 |

契約賃貸料を計算する

契約の詳細画面の [賃貸料] タブページには、賃貸料のリストと詳細が表示されます。

賃貸料の支払額は次のフィールドから計算されます。

表 5.6. 賃貸料 - 契約賃貸料の計算に使用されるフィールド

| フィールドラベル | SQL名 | 使用法 |
|----------|-----------|--|
| 市場価格 | mValue | このフィールドの値は、賃貸料に関連付けられた資産の [市場価格] (mMarketVal) フィールドの合計になります。 警告: この値は、賃貸料の詳細を定義する前に契約に資産を追加した場合にのみ、正しく計算されます。 |
| 料率 | pLRF | 契約条件に対応する値を手動で入力します。 |
| 賃貸額 | mPayments | 賃貸料の支払額は、 [料率] フィールド (pLRF) の値を賃貸料の [市場価格] フィールド (mValue) に適用することで計算されます。 |

資産の賃貸料を計算する

[賃貸料の比例配分] (seProrateRule) フィールドで [資産に賃貸料を配分または配賦しない] オプションを選択すると、資産賃貸料は作成されません。

賃貸料を配賦する

定期的な賃貸料の経費の配賦方法を定義するには

- 1 契約の詳細画面を表示します。
- 2 [賃貸料] タブを表示します。
- 3 賃貸料の詳細画面を表示します。
- 4 [ファイナンス] サブタブページを表示します。
- 5 [コストカテゴリ] (CostCategory) および [コストセンタ] (CostCenter) フィールドに必要な情報を入力します。



注意:

(リース明細の) 初回賃貸料の経費は資産のコストカテゴリとコストセンタに配賦されます。

6 手順4 - ローン の定義

この章では、契約ローンの定義方法ならびに次の点について説明します。

- ローンを追加する
- ローン返済スケジュールを定義する
- ローン支払の配賦方法を選択する

主要な概念

ローンについては契約ごとに定義します。

契約にリンクするローンは[ローン]テーブル (amLoan) に格納されます。

ローン返済明細は[ローン返済明細]テーブル (amLoanPayment) に格納されます。

契約ごとにローンを追加する

契約ローンについては、契約の詳細画面の [ローン] タブに記述されます。マスターリースを除く契約はすべてローンによって支払うことができます。したがってこのタブは契約の内容が次の条件に一致する場合にのみ表示されます。

- [タイプ] フィールド (seType) が [マスターリース] 以外の別の値に設定されている。
- [支払属性] フィールド (sePayType) が [ローン] または [両方] 。

Windowsクライアントタブによる [ローン] の表示方法を選択する

ローンは次の2つの方法で表示できます。

- 1 タブ形式
- 2 リスト形式

表示モードを切り替えるには、[ローン] タブ内 (タブのタイトル上ではない) を右クリックし、ショートカットメニューから [タブ形式で表示] または [リスト形式で表示] を選択します。

タブ形式で契約にローンを追加する (Windowsクライアントのみ)

- 1 [ローン] タブを表示します。
- 2 [ローン] タブの左下にあるサブタブを右クリックします。
- 3 [リンクレコードの追加] を選択します。
- 4 新しいサブタブページに必要な情報を入力します。
- 5 [変更] をクリックします。

[リスト] ビューに表示された契約にローンを追加する (Windowsクライアント)

- 1 [ローン] タブを表示します。
- 2 [+] ボタンをクリックします。
- 3 ローンの詳細画面に必要な事項を入力します。
- 4 [追加] をクリックします。
- 5 [変更] をクリックします。

[リスト] ビューに表示された契約に賃貸料を追加する (Webクライアント)

- 1 [ローン] タブを表示します。
- 2 [追加] をクリックします。
- 3 ローンの詳細画面に必要な事項を入力します。
- 4 [OK] をクリックします。
- 5 [保存] をクリックします。

資産ごとにローンを追加する

ローンは契約にのみリンクされているため、資産の詳細画面からローンを直接作成することはできません。

ローン返済スケジュールの入力

ここでは、ローン返済スケジュールの作成方法について説明します。

支払を追加する

- 1 契約の詳細画面を表示します。
- 2 [ローン] タブを選択します。
- 3 ローンの詳細画面を表示します。
- 4 ローン返済スケジュールにエントリを追加します (Windowsクライアントでは  ボタン、Webクライアントでは [追加])。
- 5 支払いの詳細を入力します。
- 6 入力を確定します (Windowsクライアントでは [追加] ボタン、Webクライアントでは [OK])。
- 7 Webクライアント: [ドキュメントに戻る] リンクをクリックします。
- 8 追加の支払いを有効にします (Windowsクライアントでは [変更] ボタン、Webクライアントでは [保存])。

外部プログラムからローン返済スケジュールをコピーする



警告:

この機能はWindowsクライアントでのみ使用できます。

ローン返済明細を1つずつ作成するのではなく、それらをどこかへコピーしてからリストに直接ペーストすることができます。

AssetCenterでローン返済スケジュールにコピーするデータは、そのテーブルと同じ構造でなければなりません。データをコピーすると、データの各行に対して支払明細が作成され、各行の全フィールドはそれぞれ返済スケジュールの対応する列に自動的に関連付けられます。

ローン返済スケジュールを記述するために使われるフィールド

表 6.1. ローン - ローン返済スケジュールを記述するために使われるフィールド

| フィールドラベル | フィールドのSQL名 | 使用法 |
|----------|---------------|---|
| 金額 | mAmount | 借入資本の全額を定義します。 このフィールドは、ローン返済スケジュールの残金の計算に使用します。 |
| 開始 | dStart | ローン返済開始日。 このフィールドは参照専用です。 |
| 利率 | pInterestRate | ローンの固定金利を定義します。 このフィールドは参照専用です。 |
| 変動為替 | FloatingRate | ローンの変動金利を定義します。 このフィールドは参照専用です。 |
| 支払 日付 | dPayment | ローン返済明細の支払日 この日付はローン返済明細から生成された経費明細で使用されます。 |
| 元金 | mPrincipal | 返済する借入資本 このフィールドの値は、返済スケジュールの残金を算出するためにローンの [金額] フィールド (mAmount) から差し引かれます。 元金はローン返済明細の合計で使用されます。 |
| 利率 | pInterestRate | 利率は返済明細の支払日に適用されます。 このフィールドは参照専用です。 |
| 利子 | mInterest | 支払う利子の合計 この金額はローン返済明細の合計で使用されます。 |
| 手数料 | mFees | 支払う手数料の合計 この金額はローン返済明細の合計で使用されます。 |

例

まずローンの詳細画面で次の値を入力します。

| フィールドラベル | フィールドのSQL名 | 値 |
|----------|------------|-----|
| 金額 | mAmount | 300 |

そして、ローン返済明細の詳細画面に次の値を入力します。

| フィールドラベル | フィールドのSQL名 | 値 |
|----------|------------|-----------|
| 日付 | dPayment | 2006年5月1日 |
| 元金 | mPrincipal | 20 |
| 利子 | mInterest | 5 |
| 手数料 | mFees | 1 |

そうすると、ローン返済スケジュール（リスト形式）に次の行が表示されます。

| 列見出し | 値 |
|------|---------------------------------------|
| 日付 | 2006年5月1日 |
| 元金 | 20 |
| 残金 | 前の支払残金 - 元金 = 300 - 20 = 280 |
| 利子 | 5 |
| 手数料 | 1 |
| 合計 | 元金 + 利子 + 手数料 = 20 + 5 + 1 = 26 |

ローンの配賦方法

ここでは、さまざまな配賦方法を紹介し、その適切な選択方法について説明します。

ローンの比例配分方法を選択する

手順

ローンの比例配分方法を選択するには、次の手順に従います。

- 1 契約の詳細画面を表示します。
- 2 [ローン] タブを選択します。

- 3 ローンの詳細画面を表示します。
- 4 ウィンドウの下の [賃貸料の比例配分] (seProrateRule) フィールドに必要な情報を入力します。

次の比例配分方法のいずれかを選択できます。

| 比例配分方法 | 計算方法 |
|---------------------|---|
| 資産に賃貸料を配分または配賦しない | ローン返済明細ごとに1つの経費明細が作成されます。 これらの経費明細は(資産レベルではなく)契約レベルのみで作成されます。 経費明細の金額はローン返済スケジュールの [合計] 列に表示される額に対応します。 |
| すべての資産に賃貸料を比例配分して配賦 | ローン返済明細ごとに、契約上の各資産用の経費明細が作成されます。 これらの経費明細は契約にリンクされ、対応する資産ごとに複製されます。 経費明細の金額は、資産の配賦後にローン返済スケジュールの [合計] 列に表示される額に対応します。 |
| 選択した資産に賃貸料を比例配分して配賦 | ローン返済明細ごとに、あらかじめ選択しておいたローン対象の各資産用の経費明細が作成されます。 これらの経費明細は契約にリンクされ、対応する資産ごとに複製されます。 経費明細の金額は、資産の配賦後にローン返済スケジュールの [合計] 列に表示される額に対応します。 |
| すべての資産に1件当りの賃貸料を配賦 | この計算方法はローン管理には有効ではありません。 |
| 選択した資産に1件当りの賃貸料を配賦 | この計算方法はローン管理には有効ではありません。 |

選択方法

支払を契約上のすべての資産に配賦するのはどういうときか？

- すべての資産のローン返済スケジュールが同じで、そのスケジュールをすべての資産に適用する場合です。

選択した資産に支払を配賦する場合

- 一部の資産のローン返済スケジュールが契約上のその他の資産と異なる場合です。

例：料率、スケジュール、手数料が資産ごとに異なる場合など。

- 契約レベルの支払を契約上の主資産と見なされる資産だけに配分し、その他の資産には配分しない場合。
このようにすると、モニタではなく、ハードドライブに支払を配賦することが可能になります。

賃貸料を資産に配分しないようにするのはどういうときか？

- 契約上の資産リストがローン返済額に影響しない場合です。
契約期間中に資産を追加または削除しても、結果としてローンの返済額は変更されません。
- 時間とディスク容量を節約する場合。
- 資産の詳細を考慮せずに、契約内容を検討する場合。

契約上のすべての資産または選択した資産にローン返済を配分する

ここでは、ローン返済を契約上のすべての資産または選択した資産に配分する方法について説明します。

実行手順

- 1 ローンを作成せずに、契約を作成します。
- 2 契約に資産を追加します。
各資産の [市場価格] (mMarketVal) フィールドに必要な情報を入力します ([取得] タブ、 [調達] サブタブ)。
- 3 契約の詳細画面の [全般] タブで、必要な返済タイプに応じて [支払属性] (sePayType) フィールドを [ローン] または [両方] に設定します。
[ローン] タブページが表示されます。
- 4 [ローン] タブページで、ローンを追加します。
- 5 Webクライアント： [ドキュメントに戻る] リンクをクリックします。
- 6 Windowsクライアント： [変更] をクリックします。
Webクライアント： [保存] をクリックします。
サブタブページのテーブルにローンの支払額がリストされます。 [残金] 列には支払が残っている資本が示されます。

| フィールドまたはリンク | 値 |
|--------------------------|--|
| 賃貸料の比例配分 (seProrateRule) | <ul style="list-style-type: none"> ■ すべての資産に賃貸料を比例配分して配賦 ■ 選択した資産に賃貸料を比例配分して配賦 |

ウィンドウの下の [賃貸料の比例配分] フィールドに次の値を使用して必要な情報を入力します。

- 8 [選択した資産に賃貸料を比例配分して配賦] を選択すると、 [賃貸料の比例配分] フィールドに選択できる資産リストが表示されます。デフォルトでは、このリストは空です。

選択範囲に資産を追加するには、次の手順に従います。

Windowsクライアント： [賃貸料の比例配分] フィールドの右下にある [+] ボタンをクリックします。

Webクライアント： [賃貸料の比例配分] フィールドの右下にある [追加] ボタンをクリックします。

契約上の資産のリストが表示されます。

このリストで、ローン返済を配賦する資産を選択します。

Windowsクライアントでは [+]、Webクライアントでは [追加] をクリックし、資産の選択を確定します。

資産を削除するには、リスト内でその資産を選択し、Windowsクライアントでは [-]、Webクライアントでは [削除] をクリックします。

経費明細を生成する

ローン返済明細ごとに、ローンが適用される契約上の各資産に対する経費明細が作成されます。

これらの経費明細は次のタブページに表示されます。

| 詳細 | タブ |
|----|-----|
| 契約 | コスト |
| 資産 | コスト |

ヒント:

経費明細は2度表示されますが、内容は同じです。

2度生成されることはありません。

経費明細の金額は次のフィールドで生成されます。

表 6.2. ローン - 経費明細の計算に使用されるフィールド

| フィールドラベル | SQL名 | 経費明細レベルでの使用法 |
|------------------------------------|----------|---|
| [ローン返済明細] (amLoanPayment) テーブル | | |
| 日付 | dPayment | [日付] (dCreation) フィールドに必要な情報を入力します。 |

| フィールドラベル | SQL名 | 経費明細レベルでの使用法 |
|----------------------------|--------------|--|
| 元金 | mPrincipal | これらのフィールドの金額を合計すると、ローンが適用される全資産の合計支払額が算出されます。 この合計額は [合計] 列のローン返済明細に表示されます。 |
| 利子 | mInterest | |
| 手数料 | mFees | |
| ローン (amLoan) テーブル | | |
| 比例配分方法 | ProrateField | このフィールドでは、ローンに関連付けられた複数の資産に対して、 [合計] 列の金額を比例配分するのに使用するフィールドを指定します。 |
| 四捨五入 | fPrecision | このフィールドでは、ローンに関連付けられた複数の資産への配分後に取得した支払額を四捨五入する方法を指定します。 |

支払を資産に配分する参照フィールドを選択する

ローンに関連付けられた資産に対して支払を配分するための参照フィールドは、 [比例配分方法] (ProrateField) フィールドで定義されます。

[比例配分方法] フィールドは次の値に設定することができます。

| 値 | 賃貸料を資産に比例配分するための参照として使用されるフィールドの場所 (資産の詳細画面) | | |
|-----------------------|--|-------|---|
| | タブ | サブタブ | |
| (同一) | | | この参照フィールドが表示されるために [取得方法] (seAcquMethod) フィールドがとるべき値 ([取得] タブ、 [調達] サブタブ)。 |
| 減価償却 (mDeprVal) | 固定資産 | | 購入 |
| 減価償却基準 (mDeprBasis) | 固定資産 | | 購入 |
| 賃貸料 (mPayments) | 支払 | 全般 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 料率 ■ リース |
| 転売価格 (mResalePrice) | 全般 | | <ul style="list-style-type: none"> ■ 購入 ■ 料率 ■ リース |
| 購入価格 (mPrice) | 取得 | 価格と条件 | 購入 |
| 表記価格 (mListPrice) | 取得 | 価格と条件 | |
| 税金 (mIntPayTax) | 取得 | 価格と条件 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 料率 ■ リース |
| 税金 (mTax) | 取得 | 価格と条件 | 購入 |

| 値 | 賃貸料を資産に比例配分するための参照として使用されるフィールドの場所（資産の詳細画面） | | |
|-------------------------|---|-------|--|
| | タブ | サブタブ | |
| | | | この参照フィールドが表示されるために [取得方法] (seAcquMethod) フィールドがとるべき値 ([取得] タブ、 [調達] サブタブ)。 |
| 市場価格 (mMarketVal) | 取得 | 調達 | |
| 買取額 (mPurchOptVal) | 取得 | 価格と条件 | リース |
| 残存価額 (mNetValue) | 固定資産 | | 購入 |
| 初回金 (mIntPay) | 取得 | 価格と条件 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 料率 ■ リース |

上記のすべての計算方法では、これらの参照フィールドの値は「比例配分値」と呼ばれます。

次の式は、[比例配分方法] フィールドが (同一) と異なる場合に、経費明細の [借方] (mDebit) フィールド値の計算に使用されます。

$$\text{資産の返済金額} = \text{契約の返済金額} \times \frac{\text{資産 1個あたりの価値}}{\text{資産 1個あたりの価値の合計}}$$

次の式は、[比例配分方法] フィールドが (同一) に設定されている場合に、経費明細の [借方] (mDebit) フィールド値の計算に使用されます。

$$\text{資産の返済金額} = \frac{\text{契約の合計返済金額}}{\text{選択した資産の個数}}$$

四捨五入

丸め誤差は、最初の賃貸資産に繰り越されます。AssetCenter Serverは、最初の資産を除く各資産の賃貸料を計算し、その結果派生した誤差を最初の資産の賃貸料に繰り越して、資産賃貸料の合計が契約賃貸料に等しくなるように調整します (どれを最初の資産と見なすかは、データベース管理システムとそのインデックスの設定方法によって決まります)。

四捨五入の値が「0」に設定されている場合は、各資産の賃貸料を浮動小数のデフォルトの精度で計算します。例えば、価格が「100」の契約賃貸料を3つの資産に分割する場合は、指定した四捨五入の値によって次のように各資産の賃貸料が算出されます。

- 四捨五入の値が0.01の場合
 - 1 33.34
 - 2 33.33

3 33.33

- 四捨五入の値が0の場合
 - 1 33.33333333333333433
 - 2 33.3333333333333254
 - 3 33.333333333333254



注意:

四捨五入の値は、税金の値を配分する場合にも使われます。

計算例

ある企業が掛売りで3つの資産を購入すると仮定します。

- 2台のPC (XとY)、市場価格はそれぞれ\$1500
- 1台のPC (Z)、市場価格は\$2000
- ローン返済は市場価格によって比例配分されます。

次の値はローンの詳細画面に表示されます。

| フィールドラベル | フィールドのSQL名 | 値 |
|----------|------------|--------|
| 金額 | mAmount | \$5000 |

最初のローン返済明細の詳細画面に次の値を入力したとします。

| フィールドラベル | フィールドのSQL名 | 値 |
|----------|------------|------------|
| 日付 | dPayment | 2006/01/05 |
| 元金 | mPrincipal | 200 |
| 利子 | mInterest | 50 |
| 手数料 | mFees | 10 |

次に、ローン返済スケジュールに次の明細が表示されます。

| 列見出し | 値 |
|------|---|
| 日付 | 2006/01/05 |
| 元金 | 200 |
| 残金 | 前の支払残金 - 元金 = 5 000 - 200 = 4 800 |
| 利子 | 50 |
| 手数料 | 10 |

| 列見出し | 値 |
|------|---|
| 合計 | 元金 + 利子 + 手数料 = 200 + 50 + 10 = 260 |

資産ごとの支払計算

| | |
|------|---|
| Yの支払 | = 支払合計 「Y」の比例配分値 / (「X、Y、Z」の比例配分値の合計) = 支払合計 「Y」の市場価格 / (「X、Y、Z」の市場価格の合計) = 260 x 1500 / (1500 + 1500 + 2000) = \$78 |
| Zの支払 | = 260 x 2000 / 5000 = \$104 |
| Xの支払 | = 支払合計 - (「X」以外の資産の賃貸料の合計) = 260 - 78 - 104 = \$78 |

契約上のすべての資産または選択した資産にローン返済を配賦する

実行手順

この配賦方法はローン管理には有効ではありません。

資産に賃貸料を配分または配賦しない

実行手順

- 1 ローンを作成せずに、契約を作成します。
- 2 契約に資産を追加します。
各資産の [市場価格] (mMarketVal) フィールドに必要な情報を入力します ([取得] タブ、 [調達] サブタブ)。
- 3 契約の詳細画面の [全般] タブで、必要な返済タイプに応じて [支払属性] (sePayType) フィールドを [ローン] または [両方] に設定します。
[ローン] タブページが表示されます。
- 4 [ローン] タブページで、ローンを追加して必要な情報を入力します。
- 5 Webクライアント : [ドキュメントに戻る] リンクをクリックします。

- 6 Windowsクライアント：[変更] をクリックします。
 Webクライアント：[保存] をクリックします。
 サブタブページのテーブルにローンの支払額がリストされます。[残金] 列には支払が残っている資本が示されます。

| フィールドまたはリンク | 値 |
|----------------------------|-------------------|
| 賃貸料の比例配分 (seProrateRule) | 資産に賃貸料を配分または配賦しない |

ウィンドウの下の [賃貸料の比例配分] (seProrateRule) フィールドに次の値を入力します。

経費明細を生成する

- ローン返済明細ごとに、経費明細が作成されます。
 これらの経費明細は契約の [コスト] タブページに表示されます。
 経費明細の金額は次のフィールドで生成されます。

表 6.3. ローン - 経費明細の計算に使用されるフィールド

| フィールドラベル | SQL名 | 経費明細レベルでの使用法 |
|------------------------------------|------------|---|
| [ローン返済明細] (amLoanPayment) テーブル | | |
| 日付 | dPayment | [日付] (dCreation) フィールドに必要な情報を入力します。 |
| 元金 | mPrincipal | これらのフィールドの金額を合計すると、合計支払額が算出されます。 この合計額は [合計] 列のローン返済明細に表示されます。 |
| 利子 | mInterest | |
| 手数料 | mFees | |

賃貸料を配賦する

- ローン経費の配賦方法を定義するには
- 1 契約の詳細画面を表示します。
 - 2 [ローン] タブを選択します。
 - 3 賃貸料の詳細画面を表示します。
 - 4 [コストカテゴリ] (CostCategory) および [コストセンタ] (CostCenter) フィールドに必要な情報を入力します。

7 手順5 - 資産を検収する

警告:

この章で説明する機能はWindowsクライアントでのみ使用できます。

重要項目:

この章は、[タイプ] (seType) フィールドが [リース明細] に設定されている契約のみを対象としています。

ここでは、資産を検収し、初回賃貸料を計算する手順について説明します。

主要な概念

借主は、資産を受領すると一定の時間をかけて資産を評価し、正しく機能することを確認します。資産を検収すると、リースと賃貸料の支払が実際に開始します。

検収は、リース手続きの中できわめて重要な処理手続きであり、借主と貸主との間で契約ドキュメントが交換されます。借主は貸主に受領証書を送付し、資産の検収を表明します。

資産を検収する

資産を検収するには、次の手順に従います。

- 1 契約のリストを表示します（ [契約 / リース / リース明細] リンク ）。
- 2 契約を選択します。
- 3 契約の詳細画面の [検収] をクリックします。そのリース契約に含まれている資産が一覧表示されます。
- 4 検収する資産を選択します。
- 5 検収ウィンドウの [検収日] 枠に必要な情報を入力します。手順5 - 資産を検収する [献 77]
- 6 検収ウィンドウの [初回賃貸料の計算] 枠に必要な情報を入力します。手順5 - 資産を検収する [献 77]
- 7 選択した資産を確定します（ [適用] ボタン ）。
- 8 ウィンドウを閉じます（ [閉じる] ボタン ）。

[検収日] 枠の入力方法

表 7.1. [検収日と初回賃貸料] ウィンドウ

| フィールド | 割り当てる値 | 資産の詳細画面に影響するフィールド |
|--------|--|-----------------------|
| 取得状況 | 検収済 | 取得状況 (seAcquStatus) |
| 開始日 | 契約の開始日が表示され ます。 | |
| 検収日 | 資産を検収した日 | 検収日 (dAccept) |
| シリアル番号 | 資産を個別に検収する場 合、このフィールドに資産 のシリアル番号を入力して ください。 | シリアル番号 (SerialNo) |

ヒント:

この情報は貸主にとって貴重です。借主に送られる受領証明書には受領した資産、その受領予定日、シリアル番号がまとめて記載されます。

[初回賃貸料の計算] 枠の入力方法

資産を検収すると、支払が開始されます。同時に、借主は貸主に初回賃貸料を支払う必要があります。

初回賃貸料は、資産の検収日から賃貸契約期間の最初の賃貸料支払日までの賃貸料を対象とします。



警告:

AssetCenterでは、契約の主賃貸料に付属する初回賃貸料だけを計算します。

AssetCenterでは、契約の詳細画面の [賃貸料] タブページの主賃貸料サブタブページの [賃貸料の比例配分] (seProrateRule) フィールドで選択できる次のオプションに応じて初回賃貸料を計算します。

- [すべての資産に賃貸料を比例配分して配賦]
- [選択した資産に賃貸料を比例配分して配賦]
- [資産に賃貸料を配分または配賦しない]
- [すべての資産に1件当りの賃貸料を配賦]
- [選択した資産に1件当りの賃貸料を配賦]

[すべての資産に賃貸料を比例配分して配賦] オプション

AssetCenterは、次の手順で初回賃貸料を資産に配分します。

- 1 まず、 [検収日と初回賃貸料] の画面で選択したすべての資産の初回賃貸料を計算します。これは、選択した資産の賃貸料の総額と [検収日と初回賃貸料] で定義した初回賃貸料の計算タイプに基づいて計算します。契約上のすべての資産を選択する必要はありません。
- 2 この初回賃貸料を、選択した各資産に配分します。これは、資産の詳細画面の [支払] (mPayments) フィールドと [回数] (sePeriodicity) フィールド ([取得] タブページの主賃貸料サブタブページ) に基づいて計算されます。各資産の初回賃貸料は、 [価格と条件] タブページの [初回金] (mlntPay) フィールドに入力されます。
- 3 契約の全初回賃貸料を再計算します。この金額は、契約上の全資産の初回賃貸料の合計に等しくなります。契約の初回賃貸料の総額は、契約の詳細画面の [全般] タブページの [初回金] (mlntPay) フィールドに表示されます。

すべての資産の初回賃貸料を計算する場合は、以下の手順に従います。

- 1 初回賃貸料の [計算のタイプ] を選択し、選択した方法に応じて [最小日数]、 [最大日数]、 [パーセント] の各フィールドに値を入力します。 [固定] を選択した場合は、 [初回賃貸料の合計] フィールドに直接金額を入力します。
- 2  をクリックすると、すべての資産の初回賃貸料の総額が表示されます。
- 3 次に、初回賃貸料の合計をすべての資産にどのように配分するかを指定します。

- 1 [比例配分方法] フィールドでは、初回賃貸料を各資産に配分する方法を指定します。
- 2 [四捨五入] フィールドでは、初回賃貸料を四捨五入する場合の桁数を指定します。
- 4 [適用] ボタンをクリックし、資産ごとの初回賃貸料と契約上の初回賃貸料の計算結果を保存します。結果は次のようになります。
 - 1 契約の詳細画面の [全般] タブページにある [初回金] (mlntPay) フィールドが再計算され、契約上の初回賃貸料の総額が更新されます。
 - 2 各資産の詳細画面の [取得] タブページにある [価格と条件] サブタブページの [初回金] (mlntPay) フィールドに、資産の初回賃貸料が表示されます。この初回賃貸料は、 [比例配分方法] フィールドと [四捨五入] フィールドで指定した規則によって、契約賃貸料の総額を資産に配分したものです。
 - 3 各資産の詳細画面の [コスト] タブページに、初回賃貸料の経費明細が表示されます。

[選択した資産に賃貸料を比例配分して配賦] オプション

検収した複数の資産の初回賃貸料を計算する手順は、主賃貸料をすべての資産に比例配分する前述の方法と同様です。ただし、次の条件が異なります。

- 選択した資産それぞれにつき、検収時に初回賃貸料が計算されます。選択していない資産の初回賃貸料はゼロです。
- 契約上の初回賃貸料の総額は、選択した資産の初回賃貸料の合計に等しくなります。この金額は、契約の詳細画面の [全般] タブページの [初回金] (mlntPay) フィールドに表示されます。

[資産に賃貸料を配分または配賦しない] オプション

資産ごとの初回賃貸料はありません。

契約上の初回賃貸料の総額は、契約の詳細画面の [全般] タブページの [初回金] (mlntPay) フィールドに借主が直接入力します。

この場合は、 [適用] ボタンを押しても、初回賃貸料は計算されません。契約上の資産の検収にのみ使用されます。

契約の初回賃貸料の経費明細は、契約の詳細画面の [コスト] タブページに表示されます。

初回賃貸料の計算タイプ

注意:

初回賃貸料の計算タイプは、契約の主賃貸料をすべての資産または選択した資産に配分する場合 (契約の詳細画面の [賃貸料] タブページの主賃貸料サブタブページにある [賃貸料の比例配分] (seProrateRule) フィールドで指定) にのみ使われます。

AssetCenterでは、選択した複数の資産の初回賃貸料を次の3つの方法で計算できます。

- 資産の検収日に基づいて計算
- 選択した資産の賃貸料に対する比率（パーセント）で計算
- 固定値（直接金額を入力）

契約の詳細画面の [リース] タブページ、および [検収日と初回賃貸料] 画面に、初回賃貸料の計算タイプが表示されます。

次の節では、選択した複数の資産の初回賃貸料を計算する方法について詳しく説明します。

[検収日] による計算

初回賃貸料は、資産を検収した日から計算されます。つまり、初回賃貸料の期間に比例配分されます。AssetCenterでは、1ヶ月は30日と見なします。

計算パラメータは、[検収日と初回賃貸料] 画面で指定します。

- 計算の基準値は [賃貸料の合計] フィールドに指定します。これは、選択した資産の定期的に支払う賃貸料の総額です。ただし、選択した資産に契約賃貸料を配分する場合（契約の詳細画面の [賃貸料] タブページの [賃貸料の比例配分]（seProrateRule）フィールドで指定）は、選択しない資産の定期的な賃貸料はゼロになります。
- 計算に使う日数は、AssetCenterで自動的に決定されます。
 - 日数
検収日から賃貸期間の最初の賃貸料支払日までの日数（AssetCenterで自動的に計算されます。）
 - 最小日数
初回賃貸料の計算に使う最小の日数
 - 最大日数
初回賃貸料の計算に使う最大の日数

検収日による初回賃貸料の計算例

リース契約は2006年7月1日に始まります。月1回の賃貸料（月額 \$3000）を月初めに支払います。これは、契約上のすべての資産に配分されます。借主は、2006年6月17日に契約上の資産を2件を検収します。これらの資産の賃貸料は、それぞれ月額 \$800（資産A）と \$400（資産B）です。

- これらの2件の資産の初回賃貸料は、6月17日から6月30日まで（初日と最終日を含む）の14日間です。したがって、初回賃貸料は $14/30 * (800 + 400) = \$560$ と計算されます。

これで、契約上の初回賃貸料の総額（契約の詳細画面の [全般] タブページの [初回金]（mlntPay）フィールドに表示される金額）が、\$560増えます。

- 検収した2件の資産の初回賃貸料は、それぞれの資産の詳細画面の [取得] タブページの [価格と条件] サブタブページの [初回金] フィールドに表示されます。

2件の資産の初回賃貸料は、契約上の初回賃貸料総額を月額賃貸料に比例配分し、少数点以下第二位を四捨五入して計算するものとします。

Aの初回賃貸料： $560 * 800 / (800 + 400) = \373.3

Bの初回賃貸料： $560 * 400 / (800 + 400) = \186.7

[最小日数] と [最大日数] フィールドを使う初回賃貸料の計算例

リース契約は2006年7月1日に始まります。すべての資産に配分された賃貸料は、月初めに支払う必要があります。初回賃貸料は検収日に応じて計算されます。

[最小日数] は3日、[最大日数] は25日です。

- 契約上の資産がすべて2006年6月29日に検収された場合、初回賃貸料は実際に期間が2日しかなくても、3日分が計算されます。
- 契約にあるすべての資産が2006年6月2日に検収された場合、検収日と最初の1ヶ月（2006年7月1日）の開始日との差が25日以上になります。この場合、初回賃貸料は25日分のみ計算されます（これは、請求可能な最大日数です）。
- 契約にあるすべての資産が契約開始日（2006年7月1日）に検収される場合、これらの資産に対する初回賃貸手数料は計算されません。請求対象となる期間が賃貸料の支払全体に対応するためです。[最小日数] を0日、[最大日数] を31日に設定する必要があります。

賃貸料比（パーセント）による計算

初回賃貸料は、次のように契約の [賃貸料の合計] フィールドに指定した金額に対する比率で計算します。

- 比率は、この計算方法を選択した場合に表示される [パーセント] フィールドで指定します。デフォルトでは、[検収日と初回賃貸料] ウィンドウの [リース] タブで定義する比率に等しくなります。
- [賃貸料の合計] は、選択した資産の定期的に支払う賃貸料の合計です。ただし、契約賃貸料を選択した資産に配分する場合（契約の詳細画面の [賃貸料] タブページの [賃貸料の比例配分] （seProrateRule）フィールドで指定）は、選択しない資産の定期的な賃貸料はゼロになります。

初回賃貸料は、この方法では資産の検収日には無関係です。

例

リース契約は2006年7月1日に始まります。月1回の賃貸料（月額\$3000）を月初めに支払います。契約の詳細にある [リース] タブで定義されている初回賃貸料の割合は30%です。賃貸料はすべての資産に分配され、契約にあるすべての資産は2006年6月中に検収されます。

- 契約の初回賃貸料は2006年6月1日から6月30日までの期間を対象とします。初回賃貸料は、 $3000 * 30\% = \$900$ となります。

- 資産ごとの初回賃貸料は、選択した方法で初回賃貸料を比例配分して計算します。

固定値による計算

初回賃貸料は入力した金額そのものになります。[検収日と初回賃貸料]ウィンドウの[初回賃貸料の合計]フィールドに直接金額を入力してください。

8 手順6 - 経費明細を生成する

この章では、賃貸料とローン返済経費明細の生成と再計算方法について説明します。

主要な概念

次のように、契約に関連するすべてのコストについて、経費明細が作成されます。

- 定期的な賃貸料
- 初回金（リース契約の場合は初回賃貸料）
- ローン返済

賃貸料に対応する経費明細は、次の2つの方法で生成されます。

- 初回賃貸料の経費明細は資産が検収されるとAssetCenterによって作成されます。
- 定期的な賃貸料の経費明細は、AssetCenter Serverによって作成されます。

ローン返済に対応する経費明細は、AssetCenterによって生成されます。

このため、AssetCenter Serverをサーバにインストールして設定し、起動しておく必要があります。

AssetCenter Serverを設定するには

- 1 AssetCenter Serverを起動します。

- 2 データベースに接続します（ [ファイル/データベースへの接続] メニュー）。
- 3 [ツール/モジュールの設定] メニューを選択します。
- 4 [賃貸料とローンの計算] (Rent) モジュールを選択します。
- 5 マニュアル『管理』の「AssetCenter Server」の章の「AssetCenter Serverでモニタするモジュールを設定する / 賃貸料とローンの計算モジュール (Rent) 」の部に記載された手順にしたがって、 [賃貸料とローンの計算] モジュールのオプションに入力します。

バックグラウンドタスクとしてAssetCenter Serverを起動する。

- 1 AssetCenter Serverを起動します。
- 2 データベースに接続します（ [ファイル/データベースへの接続] メニュー）。

定期的な賃貸料およびローン返済の経費明細の生成

AssetCenter Serverは接続されると、経費明細の作成が必要かどうかを定期的に検証します。必要な場合は経費明細を作成します。

重要項目:

賃貸料の経費明細を生成するかどうかは、 [検収日] (bFromAcceptDate) チェックボックスに依存します。このボックスが選択されている場合は、賃貸料に関連付けられた経費明細は資産の承認受領日を基に生成されます。ボックスの選択が解除されると、経費明細は賃貸料の有効日を基に生成されます。

定期的な賃貸料に関連する経費明細のチェックと作成が終了すると、AssetCenter Serverは最新の経費明細（過去または現在）の日付を [計算開始日] (dRecalcul) フィールドに入力します。

- 契約賃貸料を資産に配分する場合は、資産の詳細画面の [取得] タブページの [賃貸料] サブタブページにある [計算開始日] (dRecalcul) フィールドを変更します。
- 契約賃貸料を資産に配分しない場合は、契約の詳細画面の [賃貸料] タブページの [賃貸料] サブタブページにある [計算開始日] (dRecalcul) フィールドを変更します。

ただし、1つ1つの経費明細を作成するたびに再計算を行うわけではありません。

- 定期的な賃貸料に関連する経費明細の見積は、必ず再計算されます。
- 各賃貸料に固有の [計算開始日] (dRecalcul) フィールドは、定期的に支払う賃貸料の経費明細が最後に再計算された日付を表します。

借主は、 [計算開始日] (dRecalcul) フィールドを直接編集し、見積られた経費明細以外の再計算日を直接変更できます。これにより、税率が変更された場合などに不適切な経費明細を再計算することができます。

初回金の経費明細の作成

初回賃貸料は、リース契約特有の概念です。

各契約タイプには初回金があります。AssetCenterでは、契約の詳細画面の [全般] タブページにある [初回金] (mlntPay) フィールドで初回金を指定できます。リース明細の場合は、この初回金は初回賃貸料に相当します。

契約の詳細画面の [リース] タブページの [初回賃貸料] フィールドには、検収日、またはパーセントで計算するかなど、初回賃貸料の計算方法を指定します。

一般的な規則として、初回賃貸料の支払額は資産の検収日から計算します。

初回金にリンクする経費明細。リース契約の場合は次のように表示されます。

- 初回金は、初回賃貸料の支払に相当します。
- 契約上の各資産の経費明細 (資産の詳細画面の [取得] タブページ / [価格と条件] サブタブページ / [初回金] (mlntPay) フィールドの値) または契約上の一部の資産ごとの経費明細、または契約上のすべての資産に対して作成された1件の経費明細 (契約の詳細画面の [全般] タブページ / [初回金] フィールドの値) の場合があります。初めの2つの経費明細には、資産の詳細画面の [取得] タブページ上部で定義したコストセンタが割り当てられます。3番目の経費明細には、契約の [全般] タブページで定義したコストセンタが割り当てられます。

賃貸料にリンクする経費

経費明細を表示する

- 1 ナビゲーションバーにあるリンクのいずれかを使用して契約リストを表示します。
- 2 契約の詳細画面を表示します。
- 3 [コスト] タブページを開きます。

経費明細の生成に使用する規則

| 経費明細の発生元 | 各賃貸期間に対して： | | | |
|----------|---------------------|---------------|---|---------|
| | 比例配分方法 | 生成される経費明細 | 経費明細の配賦に使用されるコストセンタまたはコストカテゴリ | 経費明細の配賦 |
| 定期的な賃貸料 | すべての資産に賃貸料を比例配分して配賦 | 契約上の資産ごとの経費明細 | 資産の詳細画面、[賃貸料] タブ、[賃貸料] サブタブ、[ファイナンス] サブタブ | 資産と契約 |
| | すべての資産に1件当りの賃貸料を配賦 | | | |
| | 選択した資産に賃貸料を比例配分して配賦 | 選択した資産ごとの経費明細 | 資産の詳細画面、[賃貸料] タブ、[賃貸料] サブタブ、[ファイナンス] サブタブ | 資産と契約 |
| | 選択した資産に1件当りの賃貸料を配賦 | | | |
| | 資産に賃貸料を配分または配賦しない | 固有の経費明細 | 契約の詳細画面、[賃貸料] タブ、[賃貸料] サブタブ、[ファイナンス] サブタブ | 契約 |

| 経費明細の発生元 | 各賃貸期間に対して： | | | |
|-----------------|---------------------|--|------------------------------------|---------|
| | 比例配分方法 | 生成される経費明細 | 経費明細の配賦に使用されるコストセンタまたはコストカテゴリ | 経費明細の配賦 |
| 初回賃貸料（リース契約の場合） | すべての資産に賃貸料を比例配分して配賦 | 契約上の資産ごとの経費明細 金額の発生元：資産の詳細画面、 | 資産の詳細画面、 [ポートフォリオ] タブ、[全般] サブタブ | 資産と契約 |
| | すべての資産に1件当りの賃貸料を配賦 | [取得] タブ、 [価格と条件] サブタブ、 [初回金] (mlntPay) フィールド | | |
| | 選択した資産に賃貸料を比例配分して配賦 | 選択した資産ごとの経費明細 金額の発生元：資産の詳細画面、 | 資産の詳細画面、 [ポートフォリオ] タブ、[全般] サブタブ | 資産と契約 |
| | 選択した資産に1件当りの賃貸料を配賦 | [取得] タブ、 [価格と条件] サブタブ、 [初回金] (mlntPay) フィールド | | |
| | 資産に賃貸料を配分または配賦しない | この場合、初回賃貸料は作成されません。 | | |

コストセンタまたはコストカテゴリを変更する

経費明細を配賦するために契約または資産レベルでコストセンタまたはカテゴリを変更する場合、変更後の新規コストセンタまたはコストカテゴリはすでに生成された経費明細には適用されません。

このことによる将来の経費明細への影響はなく、AssetCenter Serverは新規コストセンタとコストカテゴリを考慮に入れながら、経費明細を自動的に再計算します。

それとは反対に、AssetCenter Serverは、次の手順で明示的に指定する場合に、過去の経費明細のみを再計算します。

- 1 契約を表示します（[契約/契約]リンク）。
- 2 変更する契約の詳細画面を表示します。
- 3 [契約]タブ、[賃貸料]サブタブを選択します。
- 4 [計算開始日]（dRecalcul）フィールドに新規コストセンタを適用する日付を入力します。

例：

2006年10月31日までは、賃貸料の経費明細はコストセンタC1に配賦されます。

2006年11月1日からは、賃貸料の経費明細はコストセンタC2に配賦されます。資産の詳細画面の [契約] タブ、 [RRR] 賃貸料サブタブでは、 [コストセンタ] (CostCenter) フィールドを2006年12月24日にC2に変更しただけでした。この日まで、2006年12月31日までの経費明細を生成しています。AssetCenter Serverが2006年11月と12月の賃貸料の経費明細 RRRをコストセンタC2に配賦するには、単に [計算開始日] (dRecalcul) フィールドを2006年11月01日に設定するだけです。

ローンにリンクする経費

経費明細を表示する

- 1 ナビゲーションバーにあるリンクのいずれかを使用して契約リストを表示します。
- 2 契約の詳細画面を表示します。
- 3 [コスト] タブページを開きます。

経費明細の生成に使用する規則

各支払の場合：

| 比例配分方法 | 生成される経費明細 | 経費明細の配賦に使用されるコストセンタまたはコストカテゴリ | 経費明細の配賦 |
|---|-------------------|---|---------|
| すべての資産に賃貸料を比例配分して配賦 すべての資産に1件当りの賃貸料を配賦 | 契約上の資産ごとの返済明細 | 資産の詳細画面、 [ポートフォリオ] タブ、 [全般] サブタブ | |
| 選択した資産に賃貸料を比例配分して配賦 選択した資産に1件当りの賃貸料を配賦 | 選択した契約上の資産ごとの返済明細 | 資産の詳細画面、 [ポートフォリオ] タブ、 [全般] サブタブ | |
| 資産に賃貸料を配分または配賦しない | 固有の返済明細 | 配賦なし | 契約 |

コストセンタまたはコストカテゴリを変更する

経費明細を配賦するために契約または資産レベルでコストセンタまたはカテゴリを変更する場合、変更後の新規コストセンタまたはコストカテゴリはすでに生成された経費明細には適用されません。

実行手順：

- 1 経費明細を削除します。
- 2 契約ローンを削除します。
- 3 契約ローンを再度作成します。
- 4 AssetCenter Serverで経費明細を生成します。

9 手順7 - 損失額の定義

重要項目:

この章は、[タイプ] (seType) フィールドが [リース明細] に設定されている契約のみを対象としています。

この章では、資産の紛失または破損の管理方法について説明します。

主要な概念

リース契約では、契約上の資産を紛失または破損した場合のために、次の情報を指定しておく必要があります。

契約の詳細画面の [リース] タブページで、次の方法で損失額の計算方法を指定します。

| フィールドまたはリンク | 詳細 |
|------------------------|--------------------------------------|
| 規則 (LossValRule) | 損失額規則を選択可能にします。 |
| 計算 (seLossValCalcMode) | 損失額の計算を指定日またはすべての期間について行うかどうかを指定します。 |

Windowsクライアント：計算方法を指定したら、計算ボタンをクリックすると計算を開始します。

損失額の計算規則を定義する



警告:

この章で説明する機能はWindowsクライアントでのみ使用できます。

一般に、紛失または破損した資産の価値は契約に規定されています。

AssetCenterでは、損失額の計算規則を入力し、1件の資産または選択した複数の資産の損失額を参考値を使って見積ることができます。

これらの作業は、リース契約の詳細画面の [リース] タブページで行います。資産の詳細画面で直接資産の損失額を計算することはできません。

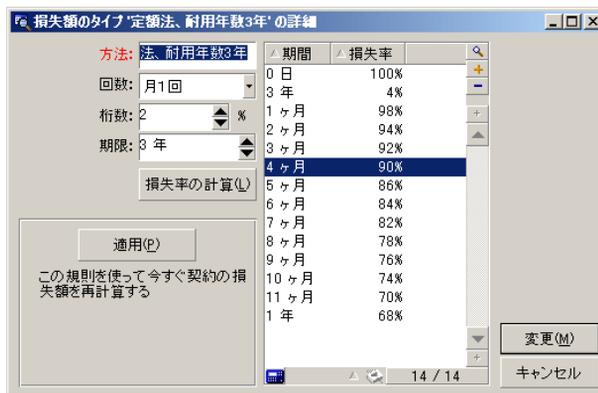
資産の損失額を計算する前に、計算規則を定義する必要があります。

計算規則を定義するには、次の手順に従います。

- 1 リース契約の詳細画面を表示し、 [リース] タブに移動します。
- 2 [規則] (LossValRule) フィールドに移動します。
- 3 このフィールドに新しい損失額の計算規則名を入力して別のフィールドに移動すると、損失額の計算規則が作成されます ([仮作成] と [詳細設定] のどちらかのオプションを選択できるダイアログボックスが表示されます。ここでは [詳細設定] を選択します)。

資産の損失額を評価するための計算規則例は以下のとおりです。

図 9.1. 損失額のタイプ - '定額法' の例



[回数] (sePeriodicity)

期間中に行う計算の回数 (頻度) を指定します。

[桁数] (fPrecision)

計算結果の桁数を指定します。

例：「0.1」と指定すると、計算された損失率が、小数点以下第1位まで表示されます。

[期限] (tsDuration)

損失額の計算規則の有効期間を、契約の開始日から数えた日数で指定します。

[適用]

損失額の計算規則を変更したときに、リンクしている契約にすぐにその変更結果を反映させたい場合は、このボタンを使います。

ボタンと ボタン

 または  をクリックすると、損失率を追加または削除できます。

損失額を求める計算規則では、契約の開始以降の経過時間によって資産の参照値にかける損失率が決まります。

定額法で2つの期間の損失額間の損失率を計算する場合は、 アイコンで自動的に計算できます。2値間の損失率を計算するには、次の操作を行います。

- 1 計算の [回数] と [桁数] を定義します。
- 2 計算する期間の最初と最後の損失率を入力します。
- 3 両方の損失率を選択します。
- 4  をクリックします。これら2値間の対応する率が計算されます。

損失率の変化が直線的でない場合は、 ボタンをクリックして、直接それぞれの損失率を入力する必要があります。



この例では、リース期間の開始後3ヶ月間の損失額は、資産の参考値（計算基準値）の85%になります。

損失額を計算する

警告:

この章で説明する機能はWindowsクライアントでのみ使用できます。

損失額の計算規則を選択すると、AssetCenterはこの損失額計算規則を使って損失額を計算します。損失額の計算には、次のいずれかの方法を使います。

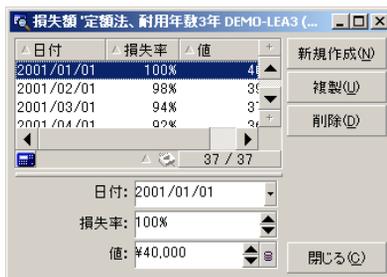
- すべての期間について計算する
 - 指定した日付について計算する
-  ボタンをクリックすると、計算が開始されます。

注意:

損失額の計算を始める前に、契約の詳細画面の [変更] をクリックし、選択した計算方法を確定してください。

[全期間で計算]

この方法を選択すると、AssetCenterは契約の開始日（ [全般] タブページ内）以降の規則の有効期間に属するすべての期間について損失額を計算します。計算したリース契約専用の損失額のテーブルが作成されます。



[日付] (dLossVal) と [損失率] (pRate)

選択した明細の日付と損失率が表示されます。この2つの値は、選択した損失額の計算規則によって決まります。この情報は、契約の損失額のリスト内で更新または保存できます。

[市場価格] (mValue)

選択した明細の損失額が表示されます。1件の資産または複数の資産の合計額を入力できます。

[指定した日付で計算]

この方法を選択すると、AssetCenterはその契約に指定された計算規則を使って、特定の日付の時点における損失額を計算します。

計算基準

デフォルトでは、[資産総額] (mMarketVal) フィールド (契約の [リース] タブページ内) の値が入力されます。

1件の資産または複数の資産の合計額を入力できます。

契約の開始

損失額の計算規則の適用開始日を設定します。この日付は、デフォルトでは契約の開始日 ([全般] タブページ内) になります。この日付を変更すれば、例えば契約の開始後に追加した資産の損失額を計算できます。

[計算] ボタン

次の場合はこのボタンをクリックします。

- 計算基準値にかける損失率を表示する。この損失率は、選択した計算規則と資産の紛失日によって決まります。
- 計算基準値を基に損失額を計算する。

損失額を更新する



警告:

この章で説明する機能はWindowsクライアントでのみ使用できます。

損失額の計算規則の詳細は、次の方法で変更できます。

- [管理 / 画面一覧] メニュー使って [損失額] のテーブル (amLossValLine) を表示します (このメニューにアクセスできるのは、AssetCenter管理者のみです) 。
- 契約の詳細画面の [リース] タブページで、[規則] (SQL名 : LossValRule) フィールドの右の  ボタンをクリックして、計算規則の編集画面を表示します。

この場合、この損失額を使うすべての契約を更新する必要があります。

損失額の変更直後の更新

変更した損失額の計算規則を使うすべての契約を更新するには、計算規則の詳細画面の [適用] ボタンをクリックします。

AssetCenter Serverによる更新

AssetCenter Serverは、計算方法が [全期間で計算] (リース契約の詳細画面の [リース] タブページの [計算] (seLossValCalcMode) フィールド) に設定されているリース契約の損失額を定期的に再計算します。このように、AssetCenter Serverがデータベースにアクセスした後に損失額の計算規則を変更すると、AssetCenter Serverによって損失額が更新されます。

損失額の再計算を設定するには、次の手順に従います。

- 1 AssetCenter Serverを起動します。
- 2 データベースに接続します ([ファイル / データベースへの接続] メニュー)。
- 3 [ツール / モジュールの設定] メニューを選択します。
- 4 [規定の損失額の計算] モジュール (LostVal) を選択します。
- 5 マニュアル『管理』の「AssetCenter Server」の章の「AssetCenter Serverでモニタするモジュールを設定する / 規定の損失額の計算モジュール (LostVal)」の部に記載された手順にしたがって、[規定の損失額の計算] モジュールのオプションに入力します。

損失額を再計算する頻度を定義する場合は、マニュアル『管理』の「AssetCenter Server」の章の「検証スケジュール」の部に記載された手順にしたがいます。

10 手順8 - 終了日の管理

重要項目:

この章は、[タイプ] (seType) フィールドが [リース明細] に設定されている契約のみを対象としています。

この章では、さまざまな契約の終了日オプションについて説明します。

契約上の資産を更新する

期間満了時に、借主はすべてまたは一部の資産についてリースを延長できます。これを資産の更新と呼びます。

資産を更新するには、次の手順に従います。

- 1 契約の詳細画面を表示します。
- 2 Windowsクライアント：[更新] ボタンをクリックします。
Webクライアント：[状況依存アクション] ドロップダウンリストから [更新] を選択します。

警告:

このボタンとエントリは、契約の詳細画面で、[オプション] タブの [更新] オプション (bRenOpt) が選択されている場合のみ使用できます。

続いて [資産の更新] ウィザードが起動します。

- 3 [更新する資産の選択] ページに必要な情報を入力します。
最初に表示されるウィンドウでは、更新する資産を選択できます。
[\[支払\] 列](#)

契約の詳細画面の [賃貸料] タブページの主賃貸料サブタブページにある [賃貸料の比例配分] (seProrateRule) オプションを選択すると、選択ウィンドウのこの列に各資産の主賃貸料が表示されます。オプションを選択しない場合は、賃貸料は表示されません。

資産を選択してから [次へ] をクリックします。

- 4 [更新する資産の選択] ページに必要な情報を入力します。
2番目に表示されるウィンドウでは、前の手順で選択したすべての資産について更新する契約の賃貸料を選択できます。
賃貸料を選択してから、[次へ] をクリックします。
- 5 [新規賃貸料] ページに必要な情報を入力します。
3番目に表示されるウィンドウでは、更新する各賃貸料の適用条件を指定できます。各賃貸料を選択し、以下のフィールドに入力します。

[詳細](#)

新しい賃貸料の名前を入力します。

新しい賃貸料を作成すると、契約の詳細画面の [賃貸料] タブページに、作成した賃貸料に対応する賃貸料サブタブページが作成されます。

[開始](#)

新しい賃貸料の開始日は、デフォルトでは更新する前の賃貸期間の終了日に1日加えた日付 (翌日) になります。

[終了](#)

新しい賃貸料の終了日は、デフォルトでは、前の賃貸期間の終了日 (契約の終了日) に契約の詳細画面の [オプション] タブページの [更新] サブタブページにある [更新期限] (tsDefRenDur) フィールドで指定した期間を加算した日付になります。

[支払](#)

新しいリース賃貸料は、デフォルトでは契約の詳細画面の [オプション] タブページの [更新] サブタブページにある [デフォルトの更新条件] 枠に指定されている情報を使って計算されます。

新しい賃貸料を定義したら、[次へ] をクリックして処理を続行します。

- 6 [資産の更新] ページに必要な情報を入力します。
- 7 最後のウィンドウで [更新] ボタンをクリックして更新を確定します。
最後のウィンドウでは、選択した資産の更新期間を定義します。

デフォルトでは次のようになります。

- 資産の更新日は、新しい賃貸料の最初の支払の初日になります。
- 更新した資産の終了日は、新しい賃貸料の最後の支払の最終日になります。

資産の更新の結果

最後の定義ウィンドウで [更新] ボタンをクリックします。更新結果は次のようになります。

- AssetCenterは、既存の契約の [賃貸料] タブページにユーザが入力した新しい賃貸料の情報を使ってサブタブページを作成します。これらの新しい賃貸料は、前のリース賃貸料と同様に計算され、管理されます。
- 作成された賃貸料のサブタブページは、資産の詳細画面の [取得] タブページに表示されます。

資産を返却する

ここでは、満了時に資産を返却する手順について説明します。

資産を返却するには、次の手順に従います。

- Windowsクライアント：契約の詳細画面の [返却] ボタンをクリックします。
- Webクライアント： [状況依存アクション] ドロップダウンリストから [返却] を選択します。

AssetCenterがリース明細に関連付けられた返却伝票を作成します。



警告:

このボタンとエントリは、契約の詳細画面で [オプション] タブの [返却] オプション (bRetOpt) が選択されている場合のみ使用できます。

返却伝票は、ナビゲーションバーの [契約 / リース / 返却伝票] リンクを使って管理することもできます。このリンクを選択すると、関連するファイナンス契約に関係なく、すべての返却伝票のリストを表示できます。これに対し、リース契約の詳細画面の [返却] ボタンは、所定のリース契約に関連する返却伝票のみを表示します。

1件の返却伝票に、同じ契約に含まれる資産が複数リンクする場合があります。

返却伝票を契約に関連付ける

返却の詳細画面の [全般] タブページの [ファイナンス契約] (Schedule) フィールドで、返却をリンクする契約を指定します。

返却する資産のリスト（返却伝票）

返却する資産の一覧を、返却伝票の詳細画面の [資産] タブページで見ることができます。

- 1  (Windowsクライアント) または [追加] (Webクライアント) をクリックすると、返却伝票の詳細画面の [全般] タブページで指定したファイナンス契約にリンクしている資産のリストから資産を選択できます。
- 2  (Windowsクライアント) または [削除] (Webクライアント) をクリックすると、資産を選択から削除できます。

輸送に関する情報は、返却の詳細画面の [輸送] タブにあります。

資産が返却伝票に入れられると、そのステータスが自動的に変更されます。資産の詳細画面の [取得] タブページの [調達] サブタブページにある [取得状況] (seAcquStatus) フィールドが [返却予定] に変わります。

返却する資産のリストに資産を加えても、資産のテーブルや契約上の資産のリスト (契約の詳細画面の [資産] タブページに表示) からは削除されません。

資産を除却する

返却に入っている資産は、自動的に除却されるわけではありません。

返却伝票に含まれている資産を効率的に除却するには、次の手順に従います。

- 1 返却伝票の [全般] タブページの [実行日] (dCarriedOut) フィールドに日付を指定します。
- 2 返却伝票の詳細画面の [資産] タブページで除却する資産を選択します。
- 3 Windowsクライアント : [除却] をクリックします。
Webクライアント : [状況依存アクション] ドロップダウンリストから [除却済] を選択します。

各資産のフィールドは次のように変更されます。

| タブ | フィールド | 新しい値 |
|-------------------------|-----------------------|------------------|
| [取得] | 取得状況 (seAcquStatus) | [返却済] |
| [ポートフォリオ]、[全般] サブタブ | 割当 (seAssignment) | [除却済(または消費済)] |
| [全般] | 日付 (sDispos) | 返却の実行日の値 |
| [全般] | 理由 (DisposReason) | [返却] ([返却名]) |

資産を買い取る

資産を買い取る場合は、以下の手順に従います。

- 1 Windowsクライアント : 契約の詳細画面の [購入] をクリックします。

Webクライアント：[状況依存アクション]ドロップダウンリストから[購入]を選択します。

このボタンとエントリは、契約詳細画面の[オプション]タブページで[購入]オプション（bPurchOpt）がアクティブになっている場合だけ使用できません。

2 買い取る資産を選択します。

AssetCenterは、選択した資産について次の金額を計算します。

- 主賃貸料（[取得]タブページ）の各サブタブページに表示される[支払]（mPayments）フィールドの合計額
- 選択した資産の[取得]タブページの[調達]サブタブページにある[市場価格]（mMarketVal）フィールドの合計額

次のように、特定の購入条件は自動的に入力されます。

- 購入価格は、選択した資産の[取得]タブページの[価格と条件]サブタブページにある[買取額]（mPurchOptVal）フィールドの合計になります。
- 購入日は、デフォルトではリース期間の満了日になります。

必要に応じて、[購入価格]を手動で入力し、購入日を変更します。[比例配分方法]フィールドでは、購入価格を選択した資産に配分する方法を指定します。

注意:

[賃貸料の合計]、[市場価格の合計]、および[購入見積値]のフィールドの値は、[購入価格]を決定するときの参考用です。

次に、[適用]をクリックして、内容を確定します。

買い取りを確定すると、選択した資産の次のフィールドが自動的に変更されません。

| タブ | フィールド | 新しい値 |
|------------------|--------------------|----------------------------------|
| [取得]、[調達]サブタブ | 取得方法（seAcquMethod） | 購入 |
| [取得]、[価格と条件]サブタブ | 取得日（dAcquisition） | 購入日の値 |
| [取得]、[価格と条件]サブタブ | 購入価格（mPrice） | 値は購入オプション画面で定義されたパラメータを基に計算されます。 |

資産の詳細画面の[コスト]タブページに経費明細が作成されます。

その他の場合

- ▶ 資産と契約とのリンクを削除する [献 44]

11 日常のASP契約の管理

この章では、アプリケーションサービス契約の管理方法について説明します。

必要条件

- 1 AssetCenter Serverを起動します（Windowsの [スタート] メニュー）。
- 2 データベースに接続します（ [ファイル/データベースへの接続] メニュー）。
- 3 [実行グループ'BST_ASP'にワークフロー規則を適用] モジュールを設定します（ [ツール/モジュールの設定] メニュー）。
- 4 モジュールを有効にします（ [有効] オプションを選択）。
- 5 モジュールをトリガする頻度を設定します。

注意:

あらかじめ設定された頻度に応じてワークフローはトリガされます。手動で変更の有無を確認したい場合は、AssetCenter Serverのメインウィンドウの [起動] アイコンをクリックして確認を行うことができます。

ヒント:

AssetCenter Serverの検証スケジュールの詳細に関しては、マニュアル『管理』の「AssetCenter Server」の章の「AssetCenter Serverでモニタするモジュールを設定する / 検証スケジュール」の部を参照してください。

ASPワークフローを使用するためには、AssetCenter Serverを設定し、実行する必要があります。

ASP管理Webページに接続する

警告:

この章で説明する機能はWindowsクライアントでのみ使用できます。

ここでは、アプリケーションサービスの管理者が、ユーザアカウントの管理（アカウントの作成や変更、権限、プロファイルの変更等）などを行うためにASPインターネットサイトの管理ページにすばやく接続する方法について説明します。

ヒント:

注：ASP管理ページは、[管理URL]（ASPUserRegURL）で指定します（契約の[全般]タブ）。

ASPインターネットサイトに管理者として接続するには、次の手順に従います。

契約のリストから行う：

- 1 契約を表示します（ナビゲーションバーの[契約/ASP/アプリケーションサービス]リンク）。
- 2 契約ローンを右クリックします。
- 3 [アプリケーションサービスの管理]アクションをトリガします（[アクション]ショートカットメニュー）。

契約に含まれるユーザリストから行う：

- 1 契約を表示します（ナビゲーションバーの[契約/ASP/アプリケーションサービス]リンク）。
- 2 契約を選択します。
- 3 [従業員]タブを選択します。
- 4 [従業員]タブの内側を右クリックします。
- 5 [アプリケーションサービスの管理]アクションをトリガします（[アクション]ショートカットメニュー）。

お使いのWebブラウザにASP管理アクセスページが表示されます。

ASP Webサイトに接続する

警告:

この章で説明する機能はWindowsクライアントでのみ使用できます。

ここでは、ASPインターネットサイトにすばやく接続する方法について説明します。

ヒント:

注：一般的なASPのアドレスは、[アプリケーションのURL] (ASPConnectionURL) フィールドで指定します (契約の [全般] タブ)。

ASPインターネットサイトにユーザとして接続するには、次の手順に従います。

- 1 契約を表示します (ナビゲーションバーの [契約 / ASP / アプリケーションサービス] リンク)。
- 2 契約を選択します。
- 3 [従業員] タブを選択します。
- 4 [従業員] タブの内側を右クリックします。
- 5 [アプリケーションサービスに接続] アクションをトリガします ([アクション] ショートカットメニュー)。

お使いのWebブラウザにASPアクセスページが表示されます。

テクニカルサポートに電子メールを送信

警告:

この章で説明する機能はWindowsクライアントでのみ使用できます。

ここでは、テクニカルサポートに電子メールを送信する方法について説明します。

ヒント:

注：一般的なASPのアドレスは、[テクニカルサポート] (ASPEMail) フィールドで指定します (契約の [全般] タブ)。

サポートに電子メールを送信するには、次の手順に従います。

- 1 契約を表示します (ナビゲーションバーの [契約 / ASP / アプリケーションサービス] リンク)。

- 2 契約ローンをクリックします。
- 3 [テクニカルサポートに電子メールを送信]アクションをトリガします([アクション]ショートカットメニュー)。

テクニカルサポートのアドレスが入った新規メッセージがメッセージシステムに表示されます。

ユーザアカウントを管理する

必要条件

ASPユーザアカウントを管理するには、AssetCenter Serverをインストールして設定し、実行しておく必要があります。

AssetCenter Serverの設定

- 1 AssetCenter Serverを起動します。
- 2 データベースに接続します([ファイル/データベースへの接続]メニュー)。
- 3 [ツール/モジュールの設定]メニューを選択します。
- 4 [実行グループ'**BST_ASP**'にワークフロー規則を適用](WkGroupBST_ASP)モジュールを選択します。
- 5 マニュアル『管理』の「AssetCenter Server」の章の「賃貸料とローンの計算モジュール(Rent)」セクションに記載された手順にしたがって、[実行グループ'**BST_ASP**'にワークフロー規則を適用]モジュールのオプションに入力します。

バックグラウンドタスクとしてAssetCenter Serverを実行する

- 1 AssetCenter Serverを起動します。
- 2 データベースに接続します([ファイル/データベースへの接続]メニュー)。

ASP契約の主な情報が入力されていることを確認します。

ユーザアカウントの管理ワークフローを実行するには、ASP契約の次のフィールドに入力します。

フィールドまたはリンク

[全般]タブ

責任者(Supervisor)

メッセージシステムが設定されていることを確認する

通知メッセージを目的のユーザに正しく届けるには、メッセージシステムを正しく設定し、ユーザ側でも必要な情報を入力しておく必要があります。

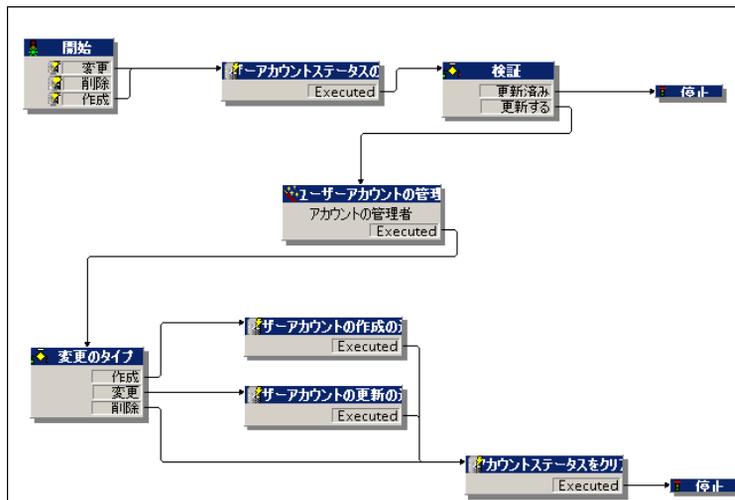
▶ マニュアル『管理』の「メッセージシステム」の章

プロセス

グローバルプロセス

ユーザアカウントの管理ワークフローチャートの詳細画面では、プロセス全体を理論的に理解することができます。

図 11.1. ユーザアカウントの管理ワークフロー - 図



ユーザアカウントを作成する

ユーザアカウントを作成するには、次の手順に従います。

- 1 AssetCenterデータベースで契約に含めるユーザを作成します。
 - 方法1: [ソフトウェアの管理] ウィザード (sysSamLauncher) を使用する
 - a [ソフトウェアの管理] ウィザード (ナビゲーションバーにある [ポートフォリオ管理 / IT / ライセンス / ソフトウェアの管理...] リンク) を開始します。
 - b 現在の契約が、ユーザアカウントの追加先であるASP契約であることを確認します。

- c [ソフトウェアの管理] ページで、[ソフトウェアライセンスとインストールの作成/変更] ボタンをクリックします。
 - d [次へ] をクリックします。
 - e [**Licenses and software installations** (ライセンスとソフトウェアのインストール)] ページで、[**ASPユーザの追加**] ボタンをクリックします。
 - f これにより、[ASPユーザの追加...] ウィザード (sysSamAddAspUsers2Cntr) が開始します。
必要に合わせてウィザードを入力します。
 - g 全パラメータを確認します ([終了] ボタン)。
ウィザードにより、ユーザが契約に追加されます。
- 方法2: メニューを使用する
 - a 契約を表示します (ナビゲーションバーの [契約 / ASP / アプリケーションサービス] リンク)。
 - b 契約の詳細画面を表示します。
 - c [従業員] タブを選択します。
 - d 契約ユーザを追加します (Windowsクライアントでは  ボタン、Webクライアントでは [追加])。
特に次のフィールドとリンクに必要な情報を入力してください。

フィールドまたはリンク

ユーザ (User)

ログイン (ASPLogin)

プロフィール (Profile)



注意:

ユーザの詳細画面の [ステータス] (seStatus) フィールドは、ASP管理者がユーザアカウントを登録するまで [未作成] に設定されています。

- 2 [実行グループ '**BST_ASP**' にワークフロー規則を適用] が AssetCenter Server で実行されると、サーバは新規契約ユーザが作成されたことを認識し、契約の責任者に割り当てるワークフロータスクを作成します。
- 3 契約責任者はワークフロータスクを確認します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / ワークフローのタスク] リンク)。
次に、責任者はウィザードを起動し ([ウィザード] ボタン)、ウィザードから ASPWeb サイトの管理ページにアクセスします ([アプリケーションサービスの管理] ボタン、Windows クラウドクライアントでのみ使用可能)。
- 4 契約責任者はこの Web サイトでアカウントを作成します。

- 5 AssetCenterウィザードで、（ [アカウントが作成されました] チェックボックスをオンにして）責任者はアカウントが作成されたことを指示し、ウィザードを終了します（ [終了] ボタン）。
- 6 AssetCenter Serverの [実行グループ'BST_ASP'にワークフロー規則を適用] モジュールは次回起動時にAssetCenterデータベースのユーザステータスを更新します。

ステータスを確認するには、次の手順に従います。

 - 1 契約を表示します（ナビゲーションバーの [契約 / ASP / アプリケーションサービス] リンク）。
 - 2 契約の詳細画面を表示します。
 - 3 [従業員] タブを選択します。
 - 4 契約ユーザを選択します。

[ステータス] (seStatus)フィールドが [未作成] から [更新済] に変わっています。
- 7 このワークフローからは、契約責任者により作成が行われたことを知らせるメッセージもユーザに送信されます。

ユーザアカウントのログインまたはプロフィールを変更する

ユーザアカウントのログインまたはプロフィールを変更するには、次の手順に従います。

- 1 次の手順で、AssetCenterデータベースで契約ユーザの詳細画面を表示します。
 - 1 契約を表示します（ナビゲーションバーの [契約 / ASP / アプリケーションサービス] リンク）。
 - 2 契約の詳細画面を表示します。
 - 3 [従業員] タブを選択します。
 - 4 契約ユーザの詳細画面を表示します (🔍ボタン)。

次のフィールドを変更します。

フィールドまたはリンク

ログイン (ASPLogin)

プロフィール (Profile)



注意:

ユーザの詳細画面の [ステータス] (seStatus) フィールドは、ASP管理者がASP Webサイトでユーザアカウントを更新するまで [未更新] に設定されています。

- 2 [実行グループ'BST_ASP'にワークフロー規則を適用] がAssetCenter Serverで実行されると、サーバは新規契約ユーザが変更されたことを認識し、契約責任者に割り当てるワークフロータスクを作成します。

- 3 契約責任者はワークフロータスクを確認します（ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / ワークフローのタスク] リンク）。
次に、責任者はウィザードを起動し（ [ウィザード] ボタン）、ウィザードからASPWebサイトの管理ページにアクセスします（ [アプリケーションサービスの管理] ボタン、Windowsクライアントでのみ使用可能）。
- 4 契約責任者はこのWebサイトでアカウントを作成します。
- 5 AssetCenterウィザードで、（ [アカウントが変更されました] チェックボックスをオンにして）責任者はアカウントが変更されたことを指示し、ウィザードを終了します（ [終了] ボタン）。
- 6 AssetCenter Serverの [実行グループ'BST_ASP'にワークフロー規則を適用] モジュールは次回実行時にAssetCenter データベースの契約ユーザのステータスを更新します。
ステータスを確認するには、次の手順に従います。
 - 1 契約を表示します（ナビゲーションバーの [契約 / ASP / アプリケーションサービス] リンク）。
 - 2 契約の詳細画面を表示します。
 - 3 [従業員] タブを選択します。
 - 4 契約ユーザを選択します。
[ステータス]（seStatus）フィールドが [未更新] から [更新済] に変わります。
- 7 このワークフローからは、契約責任者により変更が行われたことを知らせるメッセージもユーザに送信されます。

ユーザアカウントを削除する

- ユーザアカウントを削除するには、次の手順に従います。
- 1 AssetCenterデータベースで契約に含めるユーザを更新します。
 - a 契約を表示します（ナビゲーションバーの [契約 / ASP / アプリケーションサービス] リンク）。
 - b 契約の詳細画面を表示します。
 - c [従業員] タブを選択します。
 - d ユーザの詳細画面を表示します。
次のフィールドに必要な情報を入力します。

| フィールドまたはリンク | 値 |
|-----------------|---|
| ログイン (ASPLogin) | 空 |

- 2 [実行グループ'BST_ASP'にワークフロー規則を適用] がAssetCenter Serverで実行されると、サーバは契約ユーザが変更されたことを認識し、契約責任者に割り当てるワークフロータスクを作成します。

- 3 契約責任者はワークフロータスクを確認します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / ワークフローのタスク] リンク)。次に、責任者はウィザードを起動し ([ウィザード] ボタン)、ウィザードからASPWebサイトの管理ページにアクセスします ([アプリケーションサービスの管理] ボタン、Windowsクライアントでのみ使用可能)。
- 4 このWebサイトで契約責任者はアカウントを削除します。
- 5 AssetCenterウィザードで、 ([アカウントが削除されました] チェックボックスをオンにして) 責任者はアカウントが削除されたことを指示し、ウィザードを終了します ([終了] ボタン)。
- 6 AssetCenter Serverの [実行グループ'BST_ASPにワークフロー規則を適用] モジュールは次回実行時にAssetCenter データベースの契約ユーザのステータスを更新します。

ステータスを確認するには、次の手順に従います。

 - 1 契約を表示します (ナビゲーションバーの [契約 / ASP / アプリケーションサービス] リンク)。
 - 2 契約の詳細画面を表示します。
 - 3 [従業員] タブを選択します。
 - 4 契約ユーザを選択します。

[ステータス] (seStatus) フィールドが [未更新] から [更新済] に変わります。
- 7 このワークフローからは、契約責任者により削除が行われたことを知らせるメッセージもユーザに送信されます。
- 8 次の手順で契約ユーザを削除することができます。
 - 方法1: [ソフトウェアの管理] ウィザード (sysSamLauncher) を使用する
 - a [ソフトウェアの管理] ウィザード (ナビゲーションバーにある [ポートフォリオ管理 / IT / ライセンス / ソフトウェアの管理...] リンク) を開始します。
 - b 現在の契約が、ユーザアカウントの追加先であるASP契約であることを確認します。
 - c [ソフトウェアの管理] ページで、 [ソフトウェアライセンスとインストールの作成/変更] ボタンをクリックします。
 - d [次へ] をクリックします。
 - e [Licenses and software installations (ライセンスとソフトウェアのインストール)] ページで、 [ASPユーザの削除...] ボタンをクリックします。
 - f これにより、 [ASPユーザの削除...] ウィザード (sysSamDelAspUsersFromCntr) が開始します。

必要に合わせてウィザードを入力します。
 - g 全パラメータを確認します ([終了] ボタン)。

ウィザードにより、選択したユーザと契約間のリンクが削除されます。

- 方法2: メニューを使用する
 - a 契約を表示します (ナビゲーションバーの [契約 / ASP / アプリケーションサービス] リンク)。
 - b 契約の詳細画面を表示します。
 - c [従業員] タブを選択します。
 - d ユーザと契約間のリンクを削除します (Windowsクライアントでは [-] ボタン、Webクライアントでは [削除])。

III 実用例

12 実用例

本章ではAssetCenterにおける契約の管理方法を4つの実用例を用いて説明します。

- メンテナンス契約
- 保険契約（証券）
- リース契約（agreements）
- ASP契約

アラームの作成方法を説明するための実用例も含まれます。

実用例を行う際、説明した操作をデモデータベースに対して実行することを推奨します。

メンテナンス契約を管理する

実用例について

この事例では、Broca社とRodon社を用いています。

Broca社はRodon社とThompsonブランドコンピュータのメンテナンス契約を結びました。このコンピュータはCPUとモニタを装備しますが、CPUだけが契約の対象となっています。

この事例では、Broca社は自社のデータベースに対するメンテナンス契約を保有し、一方のRodon社は契約対象のコンピュータに対して2種類の明確な作業指示（CPUとモニタに対してそれぞれ1つずつ）を出しました。

この事例の手順は次のとおりです。

- 1 ブランド「Thompson」を作成します。
- 2 属性を作成します（CPUとモニタ）。
- 3 モデルを作成します。
- 4 会社「Rodon」を作成します。
- 5 メンテナンス契約を作成します。
- 6 ポートフォリオ品目を作成します。
- 7 CPUの作業指示を作成し、トラッキングします。
- 8 モニタに対する2番目の作業指示を作成し、トラッキングします。

AssetCenterを起動する

AssetCenterを起動するには、AssetCenterプログラムグループ内の該当するアイコンをダブルクリックします。

最初にAssetCenter管理者（Admin）として、デモ用データベースを開きます。パスワードは、ユーザが指定できるように空になっています。

手順1：ブランドを作成する

- 1 ブランドを表示します（ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / ブランド] リンク）。
- 2 レコードを作成するため、次のテーブルで示すようにフィールドとリンクに必要な情報を入力します。

| フィールドまたはリンク | 値 |
|-------------|----------|
| 名前 (Name) | Thompson |

- 3 Windowsクライアント：すべてのウィンドウを閉じます。

手順2：属性を作成する



警告:

属性を作成できるのはWindowsクライアントだけです。

- 1 属性を表示します（ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / 属性] リンク）。
- 2 レコードを作成するため、次のテーブルで示すようにフィールドとリンクに必要な情報を入力します。

| フィールドまたはリンク | 値 |
|-------------|---|
|-------------|---|

| | |
|-----------------------------|---------------------|
| 名前 (Name) | PC1 - コンピュータ |
| 作成 (seBasis) | ポートフォリオ品目 |
| オーバーフローテーブル (seOverflowTbl) | コンピュータ (amComputer) |
| 管理条件 (seMgtConstraint) | 固有資産タグ |

| | |
|-----------------------------|-----------|
| フィールドまたはリンク | 値 |
| 名前 (Name) | PC1 - モニタ |
| 作成 (seBasis) | ポートフォリオ品目 |
| オーバーフローテーブル (seOverflowTbl) | (テーブルなし) |
| 管理条件 (seMgtConstraint) | 固有資産タグ |

- 3 Windowsクライアント：すべてのウィンドウを閉じます。

手順3：モデルを作成する

- 1 モデルを表示します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / モデル] リンク)。
- 2 レコードを作成するため、次のテーブルで示すようにフィールドとリンクに必要な情報を入力します。

| | |
|--------------|--------------|
| フィールドまたはリンク | 値 |
| 名前 (Name) | PC1 - デスクトップ |
| ブランド (Brand) | Thompson |
| 属性 (Nature) | PC1 - コンピュータ |

| | |
|--------------|-----------|
| フィールドまたはリンク | 値 |
| 名前 (Name) | PC1 - モニタ |
| ブランド (Brand) | Thompson |
| 属性 (Nature) | PC1 - モニタ |

- 3 Windowsクライアント：すべてのウィンドウを閉じます。

手順4：会社を作成する

- 1 会社を表示します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / 会社] リンク)。
- 2 レコードを作成するため、次のテーブルで示すようにフィールドとリンクに必要な情報を入力します。

| | |
|-------------|---|
| フィールドまたはリンク | 値 |
|-------------|---|

- 3 Windowsクライアント：すべてのウィンドウを閉じます。

手順5：メンテナンス契約を作成する

- 1 契約を表示します (ナビゲーションバーの [契約 / 契約] リンク)。
- 2 レコードを作成するため、次のテーブルで示すようにフィールドとリンクに必要な情報を入力します。

| フィールドまたはリンク | 値 |
|--------------------|----------------|
| リファレンス (Ref) | PC1 - メンテナンス契約 |
| タイプ (seType) | メンテナンス |
| 契約ステータス (seStatus) | 有効 |
| 有効期間 - 開始 (dStart) | 2006年1月1日 |
| 有効期間 - 終了 (dEnd) | 2006年12月31日 |

- 3 Windowsクライアント：すべてのウィンドウを閉じます。

手順6：ポートフォリオ品目を作成する

- 1 ポートフォリオ品目を表示します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / ポートフォリオ品目] リンク)。
- 2 レコードを作成するため、次のテーブルで示すようにフィールドとリンクに必要な情報を入力します。

| フィールドまたはリンク | 値 |
|--------------------------|--------------|
| モデル (Model) | PC1 - デスクトップ |
| コード (Code) | PC1 - 001 |
| [メンテ]タブ | |
| メンテナンス契約 (MaintContract) | PC1 - メンテナンス |

| フィールドまたはリンク | 値 |
|----------------|-----------------------|
| モデル (Model) | PC1 - モニタ |
| コード (Code) | PC1 - 002 |
| 親レコード (Parent) | Thompson PC1 - デスクトップ |

- 3 Windowsクライアント：すべてのウィンドウを閉じます。

手順7：最初の作業指示を作成しトラッキングする

- 1 作業指示を表示します（ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / 拡張ポートフォリオ / 作業指示] リンク）。
- 2 レコードを作成するため、次のテーブルで示すようにフィールドとリンクに必要な情報を入力します。

| フィールドまたはリンク | 値 |
|---------------|-----------------------|
| 作業指示番号 (WONo) | PC1 - 001 |
| [全般] タブ | |
| 資産 (Asset) | Thompson PC1 - デスクトップ |
| タイプ (seType) | 契約メンテナンス |

- 3 Windowsクライアント：すべてのウィンドウを閉じます。
- 4 契約を表示します（ナビゲーションバーの [契約 / 契約] リンク）。
- 5 PC1 - メンテナンス契約の詳細画面を表示します。
- 6 [メンテナンス] タブを選択します。
作業指示PC1 - 001が示されます。
- 7 Windowsクライアント：すべてのウィンドウを閉じます。
- 8 資産を表示します（ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / 資産] リンク）。
- 9 資産PC1 - デスクトップの詳細画面を表示します。
- 10 [メンテ] タブを選択します。
作業指示PC1 - 001が示されます。
- 11 Windowsクライアント：すべてのウィンドウを閉じます。



警告:

作業指示とメンテナンス契約をリンクする自動プロセスが正しく機能するには、資産の詳細画面の[メンテナンス]契約リンクに必要な情報を入力しておく必要があります。

手順8：2番目の作業指示を作成しトラッキングする

- 1 作業指示を表示します（ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / 拡張ポートフォリオ / 作業指示] リンク）。
- 2 レコードを作成するため、次のテーブルで示すようにフィールドとリンクに必要な情報を入力します。

| フィールドまたはリンク | 値 |
|-------------|---|
| [全般] タブ | |

| | |
|------------------------|--------------------|
| 作業指示番号 (WONo) | PC1 - 002 |
| 資産 (Asset) | Thompson PC1 - モニタ |
| タイプ (seType) | 契約メンテナンス |
| [トラッキング] タブ、[技術者] サブタブ | |
| 契約 | 空 |
| メンテナンス業者番号 | PC1 - 001 |

- Windowsクライアント：すべてのウィンドウを閉じます。
- 契約を表示します (ナビゲーションバーの [契約 / 契約] リンク)。
- PC1 - メンテナンス契約の詳細画面を表示します。
- [メンテナンス] タブを選択します。
作業指示PC1 - 002はここにはありません。
- Windowsクライアント：すべてのウィンドウを閉じます。
- 資産を表示します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / 資産] リンク)。
- 資産PC1 - モニタの詳細画面を表示します。
- [メンテ] タブを選択します。
作業指示PC1 - 002が示されます。
- Windowsクライアント：すべてのウィンドウを閉じます。

保険契約を管理する

保険タイプの契約には、関連する特定の管理規則はありません。AssetCenterにおける契約管理の概要については、このマニュアルに記載されたその他の実例を参照してください。

ASP契約を管理する



警告:

この部の実用例を実行するにはWindowsクライアントを使用する必要があります。

実用例について

この事例では、Broca社とSontay社の2社を使用します。

両者はBroca社が顧客、Sontay社がサービスプロバイダとしてASP契約に加入します。

Broca社のASP契約責任者（Mr Balck）はAssetCenter を使用して契約管理を行います。

Mr Ramilは、Broca社のアプリケーションのユーザ担当テクニカルサポートマネージャです。

この事例では、Broca社で働くMs Dianisはユーザとしてアプリケーションにアクセスすることを希望しています。次に、彼女はアプリケーションの使用に関する技術的な質問をするため、ASPに接続します。その後、Ms Dianisは退職することになったため、そのアプリケーションのユーザリストから削除されます。その処理のために、Mr Ramilはアプリケーションの再設定を行います。

この事例の手順は次のとおりです。

- 1 ASP専門分野データをインポートします。
- 2 Sontay社を作成します。
- 3 従業員を作成します（Mr Black、Mr Rami、Ms Dianis）。
- 4 ASP契約を作成します。
- 5 AssetCenter Serverを設定します。
- 6 契約用のユーザアカウントを作成します。
- 7 Ms Dianisはアプリケーションサービスに接続し、テクニカルサポートに電子メールを送ります。
- 8 Mr BlackがMs Dianisのアカウントを削除します。
- 9 Mr Ramiがアプリケーションを再設定します。

必要条件：ASP専門分野データをインポートします。

- 1 AssetCenter Windowsクライアントを起動します。
- 2 デモ用データベースに接続します。

| フィールド | 値 |
|-------|-------|
| ログイン | Admin |
| パスワード | 空 |

- 3 [ファイル/インポート]メニューを選択します。
- 4 [スクリプトの実行]をクリックします。
- 5 [実行するスクリプト]フィールドの横の[フォルダ]アイコンをクリックします。
- 6 「asp.scr」ファイルを選択します。
このファイルのデフォルトの保存場所は「C:\Program Files\HP OpenView\AssetCenter 5.00 xx\datakit\bestprac」フォルダです。

この手順を実行すると、必要なワークフローとアクションを含む専門分野データがAssetCenterにインポートされます。

手順1：Sontay社を作成します。

- 1 会社を表示します（ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / 会社] リンク）。
- 2 レコードを作成するため、次のテーブルで示すようにフィールドとリンクに必要な情報を入力します。

| フィールドまたはリンク | 値 |
|-------------|--------------|
| 名前 (Name) | PC4 - Sontay |

- 3 Windowsクライアント：すべてのウィンドウを閉じます。

手順2：従業員を作成する

- 1 従業員を表示します（ナビゲーションバーの [組織 / 従業員] リンク）。
- 2 レコードを作成するため、次のテーブルで示すようにフィールドとリンクに必要な情報を入力します。

| フィールドまたはリンク | 値 |
|-------------|-------------|
| 部署名/姓 | PC4 - black |
| 役職 (Title) | 契約責任者 |

注意:

「値'XXX'をリストデータ'YYY'に追加しますか?」という質問が表示されたら、[はい]をクリックします。

| [プロファイル] タブページ | |
|------------------|-----------------|
| ユーザ名 | aspblack |
| パスワード | black |
| 管理者権限 | このボックスをチェックします。 |

| フィールドまたはリンク | 値 |
|-------------|------------|
| 名前 (Name) | PC4 - Rami |

役職 (Title)

テクニカルサポートマネージャ

注意:

「値'XXX'をリストデータ'YYY'に追加しますか?」という質問が表示されたら、[はい]をクリックします。

| [プロフィール] タブページ | |
|-----------------------|-----------------|
| ログイン (UserLogin) | asprami |
| パスワード (LoginPassword) | rami |
| 管理者権限 | このボックスをチェックします。 |

| フィールドまたはリンク | 値 |
|-----------------------|-----------------|
| 部署名/姓 | PC4 - Dianis |
| [プロフィール] タブページ | |
| ログイン (UserLogin) | aspdianis |
| パスワード (LoginPassword) | dianis |
| 管理者権限 | このボックスをチェックします。 |

- 3 Windowsクライアント: すべてのウィンドウを閉じます。

手順3: ASP契約を作成する

契約

- 1 デモ用データベースにMr Blackとして接続します。

| フィールド | 値 |
|-------|----------|
| ログイン | aspblack |
| パスワード | black |

- 2 ASP契約を表示します (ナビゲーションバーの [契約 / ASP / アプリケーションサービス] リンク)。
- 3 レコードを作成するため、次のテーブルで示すようにフィールドとリンクに必要な情報を入力します。

| フィールドまたはリンク | 値 |
|---------------------------------|--------------------------------------|
| リファレンス (Ref) | PC4 - REF001 |
| アプリケーションタイプ (seASPTYPE) | ASP |
| ネットワークアクセス (seASPAccessType) | インターネット |
| [全般] タブ | |
| 責任者 (Supervisor) | PC4 - Black |
| 会社 (Company) | PC4 - Sontay |
| アプリケーションのURL (ASPConnectionURL) | http://h20229.www2.hp.com/index.html |

| | |
|----------------------------------|---|
| 管理URL (ASPUserRegURL) | www.hp.com/managementsoftware/peregrine_support |
| テクニカルサポート (ASPEmail) | support@sontay.com |
| 技術担当者 (Techcnct) | PC4 - Rami |
| [作成] をクリックします。 | |
| [従業員] タブ: 従業員を追加します ([+] ボタン)。 | |
| ユーザ | PC4 - Rami |
| ログイン | asprami |
| プロフィール | 管理者 |

注意:

「値'XXX'をリストデータ'YYY'に追加しますか?」という質問が表示されたら、[はい] をクリックします。

| | |
|------------------------------------|--------------|
| [従業員] タブ: 別の従業員を追加します ([+] ボタン)。 | |
| ユーザ | PC4 - Dianis |
| ログイン | aspdianis |
| プロフィール | ユーザ |

注意:

「値'XXX'をリストデータ'YYY'に追加しますか?」という質問が表示されたら、[はい] をクリックします。



注意:

ユーザの詳細画面の [ステータス] (seStatus) フィールドは、アプリケーションサービス管理者がユーザアカウントを登録するまで [未作成] に設定されています。

- 4 [変更] をクリックします。
- 5 [契約] ボタンをクリックします。
これで、ASP契約の使用条件にアクセスすることができます。
- 6 Windowsクライアント: すべてのウィンドウを閉じます。

手順4: AssetCenter Serverの [実行グループ'BST_ASP'にワークフロー規則を適用] モジュールを実行する

- 1 AssetCenter Serverを起動します。
- 2 デモ用データベースにAdminとして接続します ([ファイル/データベースに接続] メニュー)。
関連パスワードは空のままです。
- 3 [アクション/起動] メニューを選択します。

- 4 [実行グループ'BST_ASP'にワークフロー規則を適用] モジュールを選択します。
- 5 [OK] をクリックします。

手順5：契約用のユーザアカウントを作成する

- 1 AssetCenter Windowsクライアントに戻ります。
- 2 MrBlackに割り当てられたワークフロータスクを表示します（ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / ワークフローのタスク] リンク）。
[アクティビティ] 列に両方のタスクの [ユーザアカウントの管理] が表示されます。
- 3 [ウィザード] ボタンをクリックします。
- 4 新しい作成ウィザードウィンドウで、[アプリケーションサービスを管理] を「作成」します。
- 5 ASP契約の管理ページに接続している場合、シナリオの求めに応じてインターネットサポートページwww.hp.com/managementsoftware/peregrine_supportが自動的に開きます。
- 6 AssetCenter Windowsクライアントに戻ります。
- 7 作成ウィザードで [アカウントが作成されました] チェックボックスを選択します。
- 8 [終了]、[OK] の順にクリックします。
- 9 他のワークフローのアクティビティに対して操作を繰り返します。
- 10 [閉じる] をクリックします。
- 11 AssetCenter Serverに戻ります。
- 12 [アクション / 起動] メニューを選択します。
- 13 [実行グループ'BST_ASP'にワークフロー規則を適用] モジュールを選択します。
- 14 [OK] をクリックします。
- 15 AssetCenter Windowsクライアントに戻ります。
- 16 ASP契約PC4 - REF001の詳細画面を表示します（ナビゲーションバーの [契約 / ASP / アプリケーションサービス] リンクの [リファレンス]（Ref）フィールド）。
- 17 [従業員] タブページでユーザRami、次にDianisの詳細画面にアクセスします。両方のユーザの [ステータス] フィールドは、[未作成] から [更新済] に変わっています。
- 18 Windowsクライアント：すべてのウィンドウを閉じます。

手順6： Ms Dianisはアプリケーションサービスに接続し、テクニカルサポートに電子メールを送ります。

- 1 デモ用データベースにMrs Dianisとして接続します（ [ファイル / データベースに接続] メニュー ）。

| フィールド | 値 |
|-------|-----------|
| ログイン | aspdianis |
| パスワード | dianis |

- 2 従業員を表示します（ナビゲーションバーの [組織 / 従業員] リンク）。
- 3 PC4 - Dianisの詳細画面を表示します。
- 4 [アプリケーションサービス] タブページに、MsDianisがアクセスできるASP契約が表示されます。
- 5 アプリケーションサービスに接続するには、次の手順に従います。
契約の明細で [**PC4**] を右クリックし、 [アクション / アプリケーションサービスに接続] を選択します。
- 6 サポートに電子メールを送信するには、次の手順に従います。
契約の詳細画面をダブルクリックし、 [契約] フィールドの編集領域を右クリックします。 [アクション / テクニカルサポートに電子メールを送信] を選択します。 support@sontay.comへのメッセージが自動的に開きます。
- 7 Windowsクライアント：すべてのウィンドウを閉じます。

手順7： Mr BlackがMs Dianisのアカウントを削除する

- 1 デモ用データベースにMr Black、ASP契約管理者として接続します（ [ファイル / データベースに接続] メニュー ）。

| フィールド | 値 |
|-------|----------|
| ログイン | aspblack |
| パスワード | black |

- 2 契約を表示します（ナビゲーションバーの [契約 / ASP / アプリケーションサービス] リンク）。
- 3 ASP契約の詳細画面を表示します。
- 4 [従業員] タブで、ユーザ'Dianis' をダブルクリックします。

 **警告:**

[従業員] タブページにアプリケーションサービスの登録ユーザと管理者が表示されます。予防措置として AssetCenter では、[-] ボタンをクリックするだけでは、従業員を削除できないようになっています。削除するときはその手順でその可否を確定する必要があります。

- 5 [ログイン] フィールドを空にし、次に [変更] をクリックします。
[ステータス] フィールドは [未作成] に設定されています。
- 6 AssetCenter Serverに戻ります。
- 7 [アクション / 起動] メニューを選択します。
- 8 [実行グループ 'BST_ASP' にワークフロー規則を適用] モジュールを選択します。
- 9 [**OK**] をクリックします。
- 10 AssetCenter Windowsクライアントに戻ります。
- 11 Mrs Dianisの詳細画面を更新します ([F5] キーを押します)。
[ステータス] フィールドの表示は [未更新] になります。
- 12 MrBlackに割り当てられたワークフロータスクを表示します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / ワークフローのタスク] リンク)。
[アクティビティ] 列に [ユーザアカウントの管理] が表示されます。
- 13 [ウィザード] ボタンをクリックします。
- 14 新しいウィザードウィンドウで、[アプリケーションサービスを管理] を「作成」します。
- 15 処理中のページを終了し、作成ウィザードの [アカウントが削除されました] チェックボックスを選択します。
- 16 [終了]、[**OK**] [閉じる] の順にクリックします。
- 17 AssetCenter Serverに戻ります。
- 18 [アクション / 起動] メニューを選択します。
- 19 [実行グループ 'BST_ASP' にワークフロー規則を適用] モジュールを選択します。
- 20 [**OK**] をクリックします。
- 21 AssetCenter Windowsクライアントに戻ります。
- 22 Mrs Dianisの詳細画面を更新します ([F5] キーを押します)。
[ステータス] フィールドの表示は [更新済] になります。

手順8 : Mr Ramiがアプリケーションを再設定する

Mr Ramiとしてデータベースに接続します。次の2つの可能性があります。

- 1 ナビゲーションバーの [契約 / アプリケーションサービス] リンクで、ASP 契約を右クリックし、ショートカットメニューから [アクション / このアプリケーションサービスの管理] を選択します。
- 2 ナビゲーションバーの [組織 / 従業員] リンクで、左の枠から Mr Rami を選択します。Mr Rami の詳細画面が表示されます。[アプリケーションサービス] タブで、ASP 契約を右クリックし、ショートカットメニューから [アクション / アプリケーションサービスの管理] を選択します。

アラームを作成する



警告:

この部の実用例を実行するにはWindowsクライアントを使用する必要があります。



注意:

アラームプロセスについてわかりやすく説明するために、この実用例では期限が超過している契約を使用します。

実用例について

この事例では、Broca社とTchesco社を用います。

Broca社は、Tchesco社と「その他の」タイプの契約に署名します。

この契約は2005/01/01から2005/12/31まで有効で、契約の終了日の最低2ヶ月前までに終了通知を行う必要があります。

この事例では、Broca社は社内データベースに「その他の」タイプの契約を登録しており、期間満了の70日前にアラームをトリガするようにAssetCenterを設定します。このアラームは、AssetCenterメッセージシステムを用いた電子メール通知形式で、まず契約責任者であるMr.Postに送られ、次に彼のマネージャであるMr.Rissou（法務部長）に送られます。

この事例の手順は次のとおりです。

- 1 Mr Rissouを作成します。
- 2 法務部を作成します（責任者はMr Rissou）。
- 3 Mr Postを作成します。
- 4 Tshesco社を作成します。
- 5 「契約責任者とそのマネージャに通知」アクションを作成します。
- 6 Tscesco社との契約を作成します。

- 7 アラームを作成します。

手順1：Mr Rissouを作成します。

- 1 従業員を表示します（ナビゲーションバーの [組織 / 従業員] リンク）。
- 2 レコードを作成するため、次のテーブルで示すようにフィールドとリンクに必要な情報を入力します。

| フィールドまたはリンク | 値 |
|---|-----------------|
| 名前 (Name) | PC5 Rissou |
| 役職 (Title) | 法務部長 |
| 注意: 「値'XXX'をリストデータ'YYY'に追加しますか?」という質問が表示されたら、[はい] をクリックします。 | |
| [プロファイル] タブページ | |
| ログイン (UserLogin) | rissou |
| パスワード (LoginPassword) | なし |
| 注意: すべての変更を保存すると、空のパスワードでも*****として表示されます。 | |
| 管理者権限 | このボックスをチェックします。 |

- 3 Windowsクライアント：すべてのウィンドウを閉じます。

手順2：法務部を作成する

- 1 部署を表示します（ナビゲーションバーの [組織 / 部署] リンク）。
- 2 レコードを作成するため、次のテーブルで示すようにフィールドとリンクに必要な情報を入力します。

| フィールドまたはリンク | 値 |
|------------------|------------|
| 名前 (Name) | PC5 - 法務 |
| 責任者 (Supervisor) | PC5 Rissou |

- 3 Windowsクライアント：すべてのウィンドウを閉じます。

手順3 : Mr Postを作成する

- 1 従業員を表示します (ナビゲーションバーの [組織 / 従業員] リンク)。
- 2 レコードを作成するため、次のテーブルで示すようにフィールドとリンクに必要な情報を入力します。

| フィールドまたはリンク | 値 |
|---|-----------------|
| 名前 (Name) | PC5 Post |
| 役職 (Title) | 契約責任者 |
| 注意: 「値'XXX'をリストデータ'YYY'に追加しますか?」という質問が表示されたら、[はい] をクリックします。 | |
| 部署 (Parent) | PC5 - 法務 |
| [プロファイル] タブページ | |
| ログイン (UserLogin) | post |
| パスワード (LoginPassword) | なし |
| 注意: 「値'XXX'をリストデータ'YYY'に追加しますか?」という質問が表示されたら、[はい] をクリックします。 | |
| 管理者権限 | このボックスをチェックします。 |

- 3 Windowsクライアント : すべてのウィンドウを閉じます。

手順4 : Tchesco社を作成する

- 1 会社を表示します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / 会社] リンク)。
- 2 レコードを作成するため、次のテーブルで示すようにフィールドとリンクに必要な情報を入力します。

| フィールドまたはリンク | 値 |
|-------------|---------|
| 名前 (Name) | Tchesco |

- 3 Windowsクライアント : すべてのウィンドウを閉じます。

手順5：アクションを作成する

- 1 アクションを表示します（ナビゲーションバーの [管理 / アクション] リンク）。
- 2 レコードを作成するため、次のテーブルで示すようにフィールドとリンクに必要な情報を入力します。

| フィールドまたはリンク | 値 |
|--------------------------|---------------------------|
| 名前 (Name) | PC5 - 契約責任者に通知する |
| コンテキスト (ContextTable) | 契約 (amContract) |
| タイプ (seActionType) | メッセージ |
| SQL名 (SQLName) | PC5_01 |
| メニューに表示 [メッセージ] タブページ | このボックスをチェックします。 |
| 受信者 (MsgTo) | AM:[Supervisor.UserLogin] |
| 件名 (Subject) | 契約は [dEnd] 日に期間満了となります。 |

| フィールドまたはリンク | 値 |
|--------------------------|---|
| 名前 (Name) | PC5 - 契約責任者の、部署での責任者に通知する |
| コンテキスト (ContextTable) | 契約 (amContract) |
| タイプ (seActionType) | メッセージ |
| SQL名 (SQLName) | PC5_02 |
| メニューに表示 [メッセージ] タブページ | このボックスをチェックします。 |
| 受信者 (MsgTo) | AM:[Supervisor.Parent.Supervisor.UserLogin] |
| 件名 (Subject) | 契約は [dEnd] 日に期間満了となります。 |
| メッセージ (memMsgText) | 契約責任者である [Supervisor.MrMrs] [Supervisor.Name] が通知メッセージをまだ読んでいない場合に、このメッセージを受け取ります。 |

- 3 Windowsクライアント：すべてのウィンドウを閉じます。

手順6：契約を作成する

- 1 契約を表示します（ナビゲーションバーの [契約 / 契約] リンク）。
- 2 レコードを作成するため、次のテーブルで示すようにフィールドとリンクに必要な情報を入力します。

| フィールドまたはリンク | 値 |
|----------------------|-----------|
| リファレンス (Ref) | PC5 - 001 |
| タイプ (seType) | その他 |
| 契約ステータス (seStatus) | 有効 |
| 責任者 (Supervisor) | PC5 Post |
| 支払属性 (sePayType) | 賃貸料 |

| | |
|----------------------|--|
| 有効期間 - 開始 (dStart) | グラフィックのカレンダを使用して、以下の日付を選択します。 2005年1月1日 |
| 有効期間 - 終了 (dEnd) | グラフィックのカレンダを使用して、以下の日付を選択します。 2005年12月31日 |

- 3 入力を確認します ([作成] ボタン)。
- 4  をクリックします。アラーム作成ウィンドウが表示されます。
次のテーブルで示すようにフィールドとリンクに必要な情報を入力します。

| フィールドまたはリンク | 値 |
|-------------|-----------------------------|
| アラーム日 | このボックスをチェックします。 |
| トリガ | 70日前に通知 |
| アクション | PC5 - 契約責任者に通知する |
| 第2レベル | このボックスをチェックします。 |
| トリガ | 65日前に通知 |
| アクション | PC5 - 契約責任者が所属する部署の責任者に通知する |

- [**OK**]、[変更] の順にクリックします。
- 5 AssetCenter Server を起動します。
 - 6 デモ用データベースにAdminとして接続します ([ファイル / データベースに接続] メニュー)。
関連パスワードは空のままです。
 - 7 [アクション / 起動] メニューを選択します。
 - 8 [アラームの検証] モジュールを選択します。
 - 9 [**OK**] をクリックします。
 - 10 AssetCenter Windowsクライアントに戻ります。
 - 11 デモ用データベースにMr Rissouとして接続します ([ファイル / データベースに接続] メニュー)。

| フィールド | 値 |
|-------|--------|
| ログイン | rissou |
| パスワード | 空 |

- 12 未読メッセージがあることを知らせるメッセージが表示されます。
- 13 メッセージを読むには、[はい]、[次へ] を順にクリックします。
作成しておいたアラームメッセージが表示されます。AssetCenter が通知期間の70日を超過したことを検出すると、初期メッセージがまずMr Post に送信されます。AssetCenterが契約期間満了まで65日を切り、Mr Postがまだアラーム

メッセージを読んでいないことを検出すると、次のメッセージがMr Rissouに送信されます。

[参照オブジェクト]をクリックします。契約PC5-001の詳細ウィンドウが自動的に開きます。

IV 付録

13 用語解説

検収 (Acceptance)

借主による資産受領の検収は、リース手続きの中できわめて重要な処理手続きであり、借主と貸主との間で契約ドキュメント（受領証書、英語でCertificate of Acceptanceと呼ばれます）が交換されます。

承認により、賃貸料の支払い義務が発生します。

このオブジェクトを記述する**AssetCenter**データベースのテーブル

資産 (SQL名: amAsset)

料率

料率は、契約の賃貸料計算の計算式で使用されます。

契約賃貸料 = 契約賃貸料の値 × 料率

料率はリースする資産のタイプに応じて異なります。これは契約上で定義されます。

このオブジェクトを記述する**AssetCenter**データベースのテーブル

資産の賃貸料 (SQL名: amAssetRent)

契約賃貸料 (SQL名: amCntrRent)

一括発注

[一括発注]タイプの契約では、購入者は指定された期間内に指定された最低金額分の製品を購入しなければなりません。

期限までに最低金額に達しない場合は、購入者に罰則が課されます。

このオブジェクトを記述するAssetCenterデータベースのテーブル

契約 (amContract)

契約

AssetCenterでは、取引先との間で締結された契約を管理できます。

1つの契約に複数の契約を関連付けることができます。

例

AssetCenterでは以下の種類の契約を管理できます。

- マスターリース
- リース明細
- メンテナンス
- 保険
- ライセンス
- 一括発注
- その他

このオブジェクトを記述するAssetCenterデータベースのテーブル

契約 (amContract)

マスターリース (Master lease)

マスターリースでは、リースする資産に関する一般的な条項と条件、および貸主と借主の関係を定義します。

リース明細タイプの契約の作成の基準 (テンプレート) になります。

資産と賃貸料は、マスターリースでは定義しません。これらの情報については、個々のリース明細で詳しく定義します。

このオブジェクトを記述する**AssetCenter**データベースのテーブル
契約 (amContract)

リース明細

リース明細は、マスターリースの内容を実際にリース物件に適用した明細です。リース明細にはマスターリースの多くの情報が継承されるほか、物件のリスト、賃貸料および重要期日などが指定されます。

このオブジェクトを記述する**AssetCenter**データベースのテーブル
契約 (amContract)

ローン (Loan)

リース契約で資産を調達すると、資金のローンが必要な場合もあります。AssetCenterではローンの詳細情報を入力し、返済 (元金、利子、手数料) を管理することができます。

関連用語

▶ 貸付業者 (Assignee) [献 145]

このオブジェクトを記述する**AssetCenter**データベースのテーブル
ローン (SQL名 : amLoan)

支払期日

賃貸料の支払期日。

このオブジェクトを記述する**AssetCenter**データベースのテーブル
資産の賃貸料 (SQL名 : amAssetRent)
契約賃貸料 (SQL名 : amCntrRent)

期間満了 (End of term)

期間満了時には、借主は通常、リース物件の購入、返却、更新などのオプションを選択することができます。

購入 (買い取り) (Purchase)

大多数の契約書には、借主が公正な市場価格でリース物件を購入できること、またはしなければならないことが明記されています。この価格は、この種のリース物件の通常の市場価格に基づいて貸主と借主の間で決定します。

通知 (Notification)

大多数の契約書には、リース物件のリース終了時に選択するオプション (更新、返却、購入) を借主が貸主に前もって明白に通知することが義務付けられています。一般的に、貸主に事前の通知がない場合は、借主が追加の賃貸料を支払わなければならないなりません。

AssetCenterには、資産のリース期間が満了間近であることをユーザに知らせるアラーム機能があります。

借主は、契約満了日、返却の通知日、購入の通知日、更新の通知日などの、特定の日付に近づくとトリガされるアラームを作成できます。

中途解約 (Early termination)

リース期間中に、資産を他の業者に転売したり、資産の紛失、盗難、破損などの事故が発生したりすることがあります。この場合は、貸主に通知すると直ちに賃貸料の金額に修正が加えられます (損失価額の定義を参照してください)。

契約によっては、満了時より前にリース物件を返却できる場合もあります。これは、借主が貸主に通知した場合、または契約で定義されている日付に実行されます。この場合、借主は中途解約手数料という違約金を支払う必要があります。

このオブジェクトを記述するAssetCenterデータベースのテーブル

契約 (amContract)

配賦

配賦は契約上資産の賃貸料の計算方法の1つです。

配賦を使用する場合、各資産の賃貸料用に同じ固定額を定義する必要があります。

反意語

▶ 比例配分 [献 146]

このオブジェクトを記述する**AssetCenter**データベースのテーブル

資産の賃貸料 (SQL名 : amAssetRent)

契約賃貸料 (SQL名 : amCntrRent)

利子

利子は、ローンの返済時に元金と手数料と共に返済額の一部を成します。

このオブジェクトを記述する**AssetCenter**データベースのテーブル

ローン (SQL名 : amLoan)

リース

リースには、長期レンタルや分割払い購入契約との類似点および相違点があります。

いずれの場合でも賃貸料を支払いますが、以下の相違点があります。

- リース：リース契約では賃貸料支払いと違約金を計算するために、支払期日を指定します。リース契約には色々な種類がありますが、いずれの場合でも企業が備品を所有することによって生じるコストを回避できます。リースは特に、新型製品発売のサイクルが短いIT関係の資産を管理する際に、解決策として使用されます。
- 長期レンタル：契約終了時に物件の買取オプションがないリース契約を指します。後述の分割払い購入契約にはこの買取オプションがあります。
- 分割払い購入：分割払いで物件を購入する契約で、借主は支払い中に物件を使用できます。

賃貸料 (Rent)

賃貸料は、支払額と支払期限や周期によって決まります。

複数の賃貸料が存在する場合、主賃貸料と副賃貸料を区別します。

AssetCenterでは、契約に関する賃貸料の総額、契約に関連する資産の賃貸料、および初回賃貸料を計算できます。

このオブジェクトを記述するAssetCenterデータベースのテーブル

資産の賃貸料 (SQL名: amAssetRent)

契約賃貸料 (SQL名: amCntrRent)

初回賃貸料 (Interim rent)

初回賃貸料は、資産を受領して検収した日から、賃貸契約期間の第1回目の主賃貸料支払日までの期間を対象とします。

1つの契約が複数の賃貸料 (保険、レンタル、メンテナンスなど) に関連する場合もありますが、初回賃貸料は主賃貸料用にものみ存在します。

初回賃貸料の支払額は資産の検収日から計算します。

主賃貸料

複数の賃貸料が存在する場合、主賃貸料と副賃貸料を区別します。

リースタイプの契約に固有の初回賃貸料は、主賃貸料支払いにのみ適用されるため、リースでは主賃貸料の概念が重要になります。

ある賃貸料が契約上の主賃貸料である場合、この賃貸料は、この契約に関連する全資産の主賃貸料になります。

資産1件につき、主賃貸料の支払は1件だけです。

一方、契約単位では主賃貸料の支払が複数存在する場合があります。

このオブジェクトを記述するAssetCenterデータベースのテーブル

資産の賃貸料 (SQL名: amAssetRent)

契約賃貸料 (SQL名: amCntrRent)

賃貸額

賃貸料の額は、賃貸料の値に料率をかけて計算します。

賃貸料の額は、資産賃貸料と契約賃貸料で使用されます。

次の用語と混同しないでください。

▶ 賃貸料の値 [献 148]

通知

大多数の契約書には、リース物件のリース終了時に選択するオプション（更新、返却、購入）を、借主が貸主に前もって明白に通知することが条件付けられています。

一般的に、貸主に事前の通知がない場合、借主は追加の賃貸料を支払わなければなりません。

AssetCenterには、資産のリース期間が満了間近であることをユーザに知らせるアラーム機能があります。

借主は、契約満了日、返却の通知日、購入の通知日、更新の通知日などの、特定の日付に近づくトリガされるアラームを作成できます。

このオブジェクトを記述する**AssetCenterデータベースのテーブル**

契約（amContract）

回数

賃貸料は、定期的な支払額と支払回数（周期）によって決まります。

このオブジェクトを記述する**AssetCenterデータベースのテーブル**

資産の賃貸料（SQL名：amAssetRent）

契約賃貸料（SQL名：amCntrRent）

貸付業者（Assignee）

リース物件の貸主は、設備資金を調達する目的で、借主の金銭債務に対する権利を専門業者に譲渡することができます。

この業者は、通常貸付業者と呼ばれる金融業者です。

一般に借主は貸付業者にリース料を支払い、貸主は自分の契約義務を遂行します。

このオブジェクトを記述する**AssetCenterデータベースのテーブル**

契約（amContract）

比例配分

比例配分は契約上資産の賃貸料の計算方法の1つです。

比例配分モードを使用すると、比例配分値と呼ばれる参考値（購入価格、賃貸料、市場価格など）に比例配分して資産賃貸料を計算できます。

例

比例配分による資産の賃貸料の計算式は以下のとおりです。

$$\text{資産賃貸料} = \text{契約賃貸料} \times \frac{\text{資産1件の比例配分値}}{\text{契約上の資産の比例配分値}}$$

反意語

▶ 配賦 [献 142]

このオブジェクトを記述する**AssetCenter**データベースのテーブル

資産の賃貸料（SQL名：amAssetRent）

契約賃貸料（SQL名：amCntrRent）

アプリケーションサービス

アプリケーションサービスとは、アプリケーションをローカルでインストールせずに企業内で使用できるようにするサービスです。

アプリケーションは、アプリケーションサービスプロバイダ（ASP、Application Service Provider）と呼ばれる外部の会社にホストされます。

ASPIはソフトウェア会社とユーザ間の仲介役をなし、定期利用契約を結んでユーザにアプリケーション利用のサービスを提供します。

オンラインでアプリケーションを使用することにより、アプリケーションのメンテナンスとアップグレードを自動化できます。

ユーザはインターネットまたはイントラネット経由でアプリケーションにアクセスします。

このオブジェクトを記述する**AssetCenter**データベースのテーブル

契約（amContract）

ローン返済明細

ローン返済明細はローン返済の支払額と期日を定義します。
返済期日は以下の要素から構成されています。

- 日付
- 元金
- 利子率
- 手数料額

このオブジェクトを記述する**AssetCenter**データベースのテーブル

ローン返済明細 (amLoanPayment)

損失額 (Loss value)

借主は、資産を紛失または破損した場合に、通常、補償金を支払う義務があります。

補償金の額は、紛失または破損した資産の価値によって決まります。一般に、この損失価額は契約上で定義されます。

AssetCenterでは、リース期間の開始日から経過した時間と、破損または紛失した資産のタイプに基づき、様々な方法で損失価額を計算できます。

このオブジェクトを記述する**AssetCenter**データベースのテーブル

損失額 (SQL名 : amLossValLine)

損失額の損失率 (SQL名 : amLossValRate)

損失率 (SQL名 : amLossValRule)

比例配分値

賃貸料を資産に配分するために、特定の基準値を使うことがあります。

この基準値を、「比例配分値」と呼びます。

比例配分値は、契約賃貸料のレベルで選択します。

比例配分方法では、資産の詳細画面内の値（購入価格、支払、市場価格など）を使います。

契約の [支払] と比例配分値が既に指定されている場合に、資産の [支払] (SQL名 : mPayments) を計算する式は次のとおりです。

$$\text{資産賃貸料} = \text{契約賃貸料} \times \frac{\text{資産1件の比例配分値}}{\text{契約上の資産の比例配分値}}$$

このオブジェクトを記述する**AssetCenter**データベースのテーブル

契約賃貸料 (SQL名 : amCntrRent)

賃貸料の値

賃貸料の値は、賃貸料の額を計算するための基準値です。
賃貸料の値は、資産賃貸料と契約賃貸料で使用されます。

次の用語と混同しないでください。

▶ 賃貸額 [献 144]

買取額

大多数の契約書には、借主が公正な市場価格でリース物件を購入できること、またはしなければならないことが明記されています。

この価格は、この種のリース物件の通常市場価格に基づいて貸主と借主の間で決定します。

同意語

▶ 期間満了 (End of term) [献 142]

このオブジェクトを記述する**AssetCenter**データベースのテーブル

資産 (SQL名 : amAsset)

市場価格

資産の市場価格は、資産が資産のテーブル内に追加された時の市場価格を指します。

新品の場合は購入価格、中古の場合は買い取り価格などになります。

このオブジェクトを記述する**AssetCenter**データベースのテーブル
資産 (SQL名 : amAsset)

初回金

どの種類の契約にも初回金が存在します。
リース契約の場合、初回金は初回賃貸料に相当します。
一般的に、初回賃貸料の支払額は資産の検収日から計算します。

同意語

▶ 初回賃貸料 (Interim rent) [献 144]

このオブジェクトを記述する**AssetCenter**データベースのテーブル
資産 (SQL名 : amAsset)

索引

- アプリケーションサービス
 - 定義, 146
- インストール, 19
- インストールするモジュール, 17
- コスト (参考 リース費用)
- サイクル (タブ), 26
- すべての資産に比例配分 (オプション), 79
- データベース
 - 準備, 17
 - 専門分野データ - インポート
 - 既存のデータベース, 18
 - 新規データベース, 18
- マスターリース (参考 マスターリース)
- ライセンス, 17
- リース, 141
 - データモデル, 24
 - 手順, 24
 - 損失, 93
 - 定義, 143
- リースの終了
 - 定義, 142
- リース資産
 - (参考 契約)
 - トラッキング, 26
 - 管理, 39
- 検収, 78
- 更新, 99
 - 結果, 101
 - 資産, 100
 - 新規賃貸料, 100
 - 賃貸料, 100
 - 日付, 100
- 購入 (買い取り), 102
- 初回賃貸料, 79
- 損失額
 - 計算, 96
 - 計算規則, 94
 - 更新, 97
- 返却, 101
 - 契約, 101
 - 資産を除却する, 102
 - 返却資産, 102
- リース終了
 - 中途解約, 142
- リース費用
 - (参考 AssetCenterサーバ)
- リース明細 (参考 リース明細)
- ローン, 67 (参考 ローン) (参考 契約)
 - すべての資産に比例配分する
 - 手順, 69

- ローン返済スケジュール, 65
- 外部ソフトウェア, 65
- 支払, 65
- 定義, 141
- ローン返済明細, 147
- 一括発注(複数), 140
- 期間満了(参考 リース終了)
- 契約
 - (参考 リース)
 - (参考 リース終了)
 - タイプ, 31
 - マスターリース
 - 定義, 140
 - リース, 141
 - 階層構造, 31
 - 定義, 140
 - 料率, 141
- 契約タイプ, 31
- 検収, 78 (参考 検収)
 - 定義, 139
- 購入(参考 購入(買い取り))
- 購入(買い取り), 102
 - 定義, 142
- 支払回数, 145
- 支払期日, 141
- 資産に賃貸料を配分または配賦しない(オプション), 80
- 事前準備, 17
- 初回金, 149
- 初回賃貸料(参考 初回賃貸料)
- 専門分野データ, 18, 18
- 選択した資産に賃貸料を比例配分して配賦(オプション), 80
- 損失, 93
- 損失額(参考 損失額)
- 貸付業者, 145 (参考 貸付業者)
- 値
 - 初回支払額, 148
 - 損失額, 93
 - 定義, 147
 - 賃貸料の値, 148
 - 買取額, 148
 - 比例配分値, 147
- 中途解約(参考 中途解約)
- 賃貸料(参考 支払)
 - すべての資産に配賦, 59
 - 計算, 59
 - すべての資産に比例配分する
 - 契約レベルで計算する, 75, 70, 55
 - 四捨五入の値, 72, 57
 - 資産に比例配分する, 71, 56
 - 資産レベルで計算する, 55
 - 手順, 60, 53
 - 例, 73, 58
 - 期限, 66
 - 金額, 144
 - 計算方法 - 選択, 68, 52
 - 主賃貸料, 144, 54
 - 注意, 54
 - 初回賃貸料
 - 計算, 80, 79
 - 警告, 79
 - 検収日に応じた計算, 81
 - 固定値による計算, 83
 - 最小日数および最大日数フィールド, 82
 - 賃貸料の比率による計算, 82
 - 定義, 144
 - 定義, 143
 - 配賦, 75, 61
 - 配賦なし, 60
 - 計算, 60
- 通知
 - 定義, 145, 142
- 配賦, 142
- 比例配分, 146
- 必要条件, 17
- 利子, 143
- 料率, 141, 139
 - (参考 料率)

A

- AssetCenter Database Administrator
 - 専門分野データ - インポート
 - 既存のデータベース, 18
 - 新規データベース, 18